官報

昭和六年二月七日
第千二百三十一號　土曜日

訓令

◉文部省訓令第四號

高等學校高等科外國語教授要目左ノ通定ム

昭和六年二月七日

文部大臣　田中　隆三

外國語教授要目

教授方針

外國語ノ教授ハ高等學校規程第七條ノ趣旨ニ基キ外國語ヲ正確ニ了解シ且之ニ依リテ思想感情ヲ表現スルノ能力ヲ養成シ以テ學術ノ研究ニ資スルト共ニ海外諸國ノ文化、國情、國民性等ヲ正シク理解セシメ併セテ健全ナル思想、趣味、情操ヲ涵養スルコトニ努ムヘキモノトス

教授事項

發音、綴字、書方、讀方、譯解、話方、聽方、作文、書取、文法

各事項ハ成ルヘク互ニ聯關セシメ以テ教授ノ效果ヲ擧クルヤウ努ムヘシ

英語教授要目

第一外國語

文科

第一學年(約二百七十時間)
第二學年(約二百四十時間)
第三學年(約二百四十時間)

理科

第一學年(約二百四十時間)
第二學年(約百八十時間)
第三學年(約百八十時間)

發音、強勢、抑揚及語句ノ聯結ニ注意シ譯解、話方等ノ教授ニ際シ常ニ正確ナル發音ニ習熟セシムヘシ

綴字(書方ヲ含ム)　譯解、作文、書取等ノ際適宜之ヲ教授スヘシ又綴字、發音ト聯關シテ稍組織的ナル知識ヲ與フルコトヲ得ヘシ

讀方　譯解、話方等ノ教授ト共ニ練習セシムルコトヲ得ヘク語句ノ發音、文章ノ抑揚ニ注意セシムルハ勿論讀ムト同時ニ理解シ又聽者ヲシテ理解セシメ得ルヤウ習熟セシムヘシ

譯解　英語ノ學習ヲ單ナル機械的記憶及表面的理解ニ止メス英語ノ特性、國語ト英語トノ語法、文脈ノ差異等ヲ會得セシメ文章ニ含マレタル意味、感情等ヲ直接感受セシムルヤウ語學的訓練ヲ行フヘシ又濫讀ヲ奬勵シ良書ヲ指定シテ自學研鑽ノ風ヲ起シ作品ヲ通シテ海外諸國ノ文化、國情ヲ理解セシムルト共ニ眞摯ナル思想、感情ニ觸レシメ進ンテ文學ノ鑑賞及批評ノ能力ヲ養フコトニ努ムヘシ

話方(聽方ヲ含ム)　日常ノ挨拶、應對ヲ初メ頭ニヨル思想、感情ノ發表ニ慣レシムルト共ニ英語ヲ聽取スルコトニ習熟セシメ以テ英語ニヨル談話、講義等ヲ容易ニ了解シ得ルヤウ指導スヘシ

作文　既習ノ語句及文法上ノ知識ヲ自由ニ活用シテ自ラ英文ヲ構成スルコトニ慣レシメ以テ自己ノ思想、感情ヲ適切ニ表現スルノ能力ヲ養フヘシ

書取　隨時之ヲ課シ正確且敏速ニ書取ルコトヲ練習セシムヘシ

文法　特ニ時間ヲ設ケテ組織的ニ教授スルコトヲ得ルモ譯解、作文等ヲ教授スル際常ニ具體的說明ヲ加ヘ既ニ習得セル文法上ノ知識ヲ整理シ且增進スルヤウ指導スヘシ

第二外國語

文科

第一學年(約九十時間)
第二學年(約九十時間)
第三學年(約九十時間)

理科

第一學年(約九十時間)

第二學年(約百二十時間)

各教授事項ハ第一外國語ノ場合ニ準ス

入學前獨語或ハ佛語ヲ履修セル者ニ對シテハ初歩ヨリ教授シ第一外國語ノ知識ヲ利用シテ急速ノ進歩ヲ計ルヘシ

備考

一　第一外國語、第二外國語ヲ通シテ教授事項ハ成ルヘク互ニ聯關セシメテ教授スルモノトス例ヘハ發音、綴字、讀方、書取、文法ノ如キハ譯解、話方、作文等ニ隨伴セシメテ之ヲ授クルコトヲ得ヘシ

一　譯解ノ教材ハ同種類ノモノニ偏セサルヤウ教授者間ニ協調ヲ保チ文章ノ難易ト內容ノ適否トヲ愼重ニ考慮シテ成ルヘク近代ノ標準的作品ヨリ選フヘシ

譯解以外ノ教授事項ニ關シテモ適當ナル教材ヲ選ヒテ使用スルコトヲ妨ケス

一　前記教授事項ノ外ニ適宜暗誦ヲ課スルコトアルヘシ

獨語教授要目

第一外國語

文科

第一學年(約三百三十時間)

發音、綴字、書方、讀方、譯解、話方(聽方ヲ含ム)、作文、書取、文法

發音、綴字、讀方ハ初期ニ於テ正確ナル基礎ヲ授ケ書方ハ獨逸文字ノ書體ヲ一通リ練習セシムヘシ

譯解、話方、作文、文法ニ就テハ平易ヲ旨トシ成ルヘク相互ノ連絡ニ注意シ必スシモ重複スルヲ妨ケス時々暗誦、書取等ヲ課シテ語彙ヲ豐ニシ語法ニ熟セシムルヲ可トス

第二學年(約三百時間)

讀方、譯解、話方(聽方ヲ含ム)、作文、書取、文法

讀方、譯解等ノ教材ノ選擇ニ際シテハ成ルヘク各種ノ文體及內容ニ接セシムルヤウ注意スヘシ

文法ニ就テハ適宜ニ補遺練習ヲ行フヘシ

第三學年(約三百時間)

讀方、譯解、話方(聽方ヲ含ム)、作文、書取、文法

教材ハ論文、小說、戲曲、詩歌、史傳、紀行、時文等ヨリ適宜ニ選擇シテ獨逸文化ノ理解ニ資センコトニ努ムルモノトス

理科

第一學年(約三百時間)

機ネ文科第一學年ニ準ス

第二學年(約二百七十時間)

機ネ文科第二學年ニ準ス

第三學年(約二百七十時間)

機ネ文科第三學年ニ準ス　必スシモ文科ト差別スルヲ要セス雖多少自然科學的要素ヲ加味スルヲ妨ケス

第二外國語

文科、理科

第一學年(約百二十時間)

主トシテ發音、綴字、書方、讀方、譯解、文法ヲ課シ傍ラ話方(聽方ヲ含ム)、作文、書取ニ及フ

第二學年(約百二十時間)

主トシテ讀方、譯解ヲ課シ話方(聽方ヲ含ム)、作文、書取ニ及フ

教材ハ成ルヘク各種ノ文體及內容ニ接セシムルヤウ選擇スルモノトス

第三學年(約百二十時間)

主トシテ讀方、譯解ヲ課シ話方(聽方ヲ含ム)、作文、書取ニ及フ

教材ハ事情ヲ考慮シテ適宜ニ之ヲ選擇ス必スシモ文科理科ノ差別ヲ設ケスト雖多少ノ斟酌ヲナスヲ妨ケス

備考

一　入學前獨逸語ヲ履修セル者ニ就テハ相當ノ期間特別ノ課程ニ依ル授業ヲナスコトアルヘシ

一　成ルヘク早ク羅書ノ使用ニ慣レシメ自習スルノ習慣ヲ養フコトニ努ムヘシ

一　作文ハ國文獨譯、他國語ヨリノ翻譯、自由作文等ヲ適宜ニ課スルコトヲ得

一　第二外國語ニ就テハ時間數其ノ他ノ事情ニ鑑ミ主トシテ讀書力ノ養成ニ努ムヘシ

佛語教授要目

第一外國語

文科

第一學年(約三百三十時間)

發音　發音原理、發音練習
綴字　佛語綴字法ノ特色
書方　佛語書方ノ特色
讀方　朗讀法練習、暗誦

許可 12311 6.7
本文
明治二十五年三月三十一日　第三種郵便物認可

第1231号　本文

アジヤトルコ　アラビヤ　イラン地方
中央アジヤ　コーカシヤ等
ヨーロッパ
總說
各說
ロシヤ
フインランド　バルト海沿岸諸國　ポーランド等
スカンヂナビヤ半島
デンマーク　オランダ　ベルギー等
ドイツ
スイス　オーストリヤ　ハンガリー　チエッコスロバキヤ等
イギリス
フランス
イベリヤ半島
イタリヤ
バルカン半島
日本地理
帝國ノ位置
地方誌
總括
地勢
山脈　河川　湖沼　平野　海岸　島嶼等
海洋
沿海　海流　潮汐等
氣候及動植物
住民
人口　都會等
政治
立法　行政　司法　軍備　外交等
教育　神社　宗教
產業
農業　林業　水產業　鑛業　工業　商業等
交通
道路　鐵道　航路　通信等
自然地理概說
宇宙及太陽系
地球
月
曆
陸界　其ノ變動
海洋
氣界　天氣及氣候
地勢・氣候・生物相互ノ關係
人文地理概說
自然ト人類トノ關係
住民
產業
交通
國家
世界ノ主要諸國ノ國勢比較
世界ニ於ケル我ガ國ノ地位

注意

一　地理ヲ授クルニハ成ルベク事實ノ比較聯絡ニ力メ特ニ外國地理ニ於テハ我ガ國ノ情勢ヲ以テ比較ノ基礎トナスベシ
二　實地ニ觀察シ得ベキ事項ハ成ルベク直接ニ觀察セシメ其ノ他ハ常ニ地圖・標本・寫眞・繪畫・表等ニ依リ又ハ之ヲ幻燈等ニ映寫シテ生徒ノ知識ヲ確實ナラシムベシ
三　常ニ讀圖力ノ養成ニ力メ且簡單ナル圖表ノ作製ニ慣レシムベシ
四　人文地理的教材ニ關シテハ常ニ其ノ異動ニ留意シテ之ヲ授クベシ
五　學校所在府縣及之ト密接ノ關係アル地方ニ就テハ特ニ詳細ニ教授スベシ
六　自然地理概說及人文地理概說ハ特ニ我ガ國ニ關スル事項ニ注意シテ之ヲ授クベシ

外國語

外國語ノ教材ハ平易ナル現代文ヲ主トシ常識ノ養成、國民性ノ涵養ニ資スルヲ旨トシテ選擇スベシ
外國語ハ發音・綴字・聽方、讀方及解釋、話方及作文、書取・文法・習字ヲ課シ了解・發表ノ二方面ニ亙リテ互ニ聯絡シテ之ヲ授クルモノトス

第一學年及第二學年　毎週五時
聽方　讀方及解釋　話方及作文　書取
初ハ聲音ノ基礎的練習ニ重ヲ置キ且綴字ノ練習ヲナサシムベシ
簡易ナル語句文章ニ就テ聽方、讀方及解釋ヲ授ケ之ト關聯シテ話方及作文、書取等ヲ課スベシ
必要ニ應ジ文法上ノ事項ヲ知ラシムベシ
習字
成ルベク既習ノ語句文章ニ就テ之ヲ授クベシ

第三學年　毎週六時
聽方、讀方及解釋　話方及作文　書取　文法
前學年ニ準ジ稍進ミタル程度ニ於テ之ヲ授クベシ
文法ハ成ルベク既習ノ材料ニ基キテ其ノ大要ヲ授クベシ

第三學年（第一種及第二種ノ兩課程ニ分チタル場合）
第一種　增課教材　毎週二時乃至五時
聽方　讀方及解釋　話方及作方　書取　文法
前學年ニ準ジ稍進ミタル程度ニ於テ之ヲ授クベシ
教授時數少キ場合ニハ讀方及解釋ニ重ヲ置クコトヲ得
第二種　增課教材　毎週四時乃至六時
聽方　讀方及解釋　話方及作文　書取　文法
前學年ニ準ジ稍進ミタル程度ニ於テ之ヲ授クベシ

第四學年及第五學年
第一種　增課教材　毎週二時乃至五時
聽方　讀方及解釋　話方及作文　書取　文法
前學年ニ準ジ稍進ミタル程度ニ於テ之ヲ授クベシ
教授時數少キ場合ニハ讀方及解釋ニ重ヲ置クコトヲ得
第二種　增課教材　毎週四時乃至七時
聽方　讀方及解釋　話方及作文　書取　文法
前學年ニ準ジ稍進ミタル程度ニ於テ之ヲ授クベシ

注意

一　發音・綴字ハ初期ノ教授ニ於テ注意シテ之ヲ練習セシムベキハ勿論ナレドモ何レノ學年ニ於テモ之ヲ忽ニスベカラズ
二　發音ヲ授クルニ際シ必要アルトキハ舌・齒・唇等ノ位置ヲ說明シ又發音圖ヲ示スベシ
三　聽方、讀方及解釋ニ於テハ實物・繪畫・動作等ヲ示シ又彼我風俗習慣等ノ相違ヲ說キテ意義ノ了解ヲ助クベシ
四　作文ニ於テハ常ニ聽方、讀方及解釋又ハ話方ニ於テ練習セル事項ヲ應用シテ記述セシムルコトニ留意スベシ
五　作文・文法ノタメニ第三學年以上ニ於テハ適宜時間ヲ分ツコトヲ得
六　書取ハ各學年ヲ通ジテ成ルベク頻繁ニ之ヲ課スベシ
七　生徒ノ學力ニ應ジ正確明瞭ニ會得セル文章ニ就キ時々暗誦ヲ課スベシ
八　適當ノ時期ニ於テ豫習ヲ課シ又辭書ノ用法ヲ授ケ其ノ使用ニ慣レシムベシ
九　第一種課程ニ在リテハ實業ノ種類ニ應ジ適宜教材ノ選擇ニ留意スベシ
一〇　支那語ニ在リテハ四聲・注音・字母等ノ特有ノモノニ就キ注意シテ教授スベシ
尙其ノ教材ニ就テハ漢文トノ關係ニ留意シ特ニ習字ハ國語漢文ニ於ケル習字トノ關係ヲ考慮シ之ヲ省クモ可ナリ

數學

本要目ハ算術・代數・幾何・三角法ノ區別ヲナサズ單ニ教授內容ヲ列擧スルニ止メタリ而シテ其ノ取扱ハ或ハ之ヲ分科シ或ハ之ヲ綜合スル等教授者ニ於テ任意工夫スベキモノトス
第一種及第二種ノ兩課程ヲ第四學年ヨリ分ツ場合ニ於ケル要目ヲ甲トシ第三學年ヨリ分ツモノヲ乙トス

〔甲〕

第一學年　毎週三時
整數　小數　分數
正數　負數
一次方程式
幾何圖形

第二學年　毎週三時
二次方程式
直線形
圓

第三學年　毎週五時
分數方程式
比例
相似形
銳角三角函數

第四學年
增課教材　第一種　毎週二時乃至四時
　　　　　第二種　毎週二時乃至五時
基本教材ノ補充
級數
對數

第一種課程ニ在リテハ特ニ實業ニ必要ナル事項ヲ選ビテ課スル爲前記ノ內容ヲ適宜斟酌スルコトヲ得
第五學年ニ於テモ亦之ニ同ジ

第五學年
增課教材　第一種　毎週二時乃至四時
　　　　　第二種　毎週二時乃至五時
平面及直線
多面體
曲面體
三角函數及其ノ應用
全課程ノ總括及補充

〔乙〕

第一學年　毎週三時
整數　小數　分數
正數　負數
一次方程式
幾何圖形

第二學年　毎週三時
二次方程式
直線形
圓

第三學年　毎週三時
分數方程式
比例
相似形

第三學年
增課教材　毎週一時乃至二時
基本教材ノ復習及應用
銳角三角函數
第一種課程ニ在リテハ特ニ實業ニ必要ナル事項ヲ選ビテ課スル爲前記ノ內容ヲ適宜斟酌スルコトヲ得
第四學年及第五學年ニ於テモ亦之ニ同ジ

第四學年
增課教材　第一種　毎週二時乃至四時
　　　　　第二種　毎週二時乃至五時
基本教材ノ補充
級數
對數

第五學年
增課教材　第一種　毎週二時乃至四時
　　　　　第二種　毎週二時乃至五時
平面及直線
多面體
曲面體
三角函數及其ノ應用
全課程ノ總括及補充

注意

一　步合算・軌跡・作圖題・求積等ハ本要目ニ列擧セル事項ニ聯關シテ適宜之ヲ授クベシ
二　第一學年ニ於ケル幾何圖形ヲ教授スルニハ立體ノ觀察測定、平面圖形ノ作圖、模型ノ作製等ニ依リテ空間ニ關スル觀念ヲ明瞭ニシ且後學年ニ於ケル學習ノ基礎タラシメンコトニ力ムベシ
三　教材ハ成ルベク實際生活ニ適切ナルモノヲ選ブベシ
四　教授ノ際常ニ函數觀念ノ養成ニ留意スベシ
五　珠算ハ適宜之ヲ課スルコトヲ得

理科

低學年ニ於テハ一般理科ヲ課シ小學校ノ教授內容ト聯絡シテ日常生活ニ關係アル事項ニ就キ博物・物理及化學ノ各方面ヨリ之ヲ理會セシムルモノトス
高學年ニ於テハ便宜之ヲ博物・物理及化學ニ分チテ教授スレドモ一般理科ト聯絡ヲ保チ徒ニ科學的體系ニ泥ムコトナク常ニ相互ノ關係ニ注意シ稍進ミタル程度ニ於テ教授スルモノトス
博物・物理及化學ノ應用ニ關シテハ低學年ヨリ適當ノ機會ニ之ヲ教授スベキモノナレドモ乙表ニ據ル場合ニハ特ニ高學年ニ於テ應用ニ關スル重要ナル事項ヲ纏メテ教授スルモノトス
毎週教授時數ノ配當ニ就テハ甲表又ハ乙表ニ據ルモノトス

甲表

學年	一般理科	博物	物理及化學
第一學年	二	―	―
第二學年	三	―	―
第三學年	―	二	一
第四學年	―	二	二
第五學年	―	―	四

乙表

學年	一般理科	博物	物理及化學	應用理科
第一學年	二	―	―	―
第二學年	―	二	一	―
第三學年	―	一	二	―
第四學年	―	二	二	―
第五學年	―	―	―	四

〔甲〕

一般理科

一般理科ニ於テハ實驗觀察ヲ重ンジ徒ニ理論的說明ニ陷ラザランコトニ力メ高學年ニ於ケル教材トノ關係ヲ考慮シ博物・物理及化學ノ各方面ヨリ考察シ適宜左ノ材料ヲ組合セ互ニ聯絡ヲ保チテ教授スベシ
又或時期ニ於テハ博物材料ヲ主トシテ之ニ物理化學ノ材料ヲ加味シ他ノ時期ニ於テ物理化學ノ材料ヲ主トシテ之ニ博物ノ材料ヲ加味スル等便宜ノ取扱ヲナスコトヲ得
乙要目ノ一般理科ニ於テモ亦之ニ同ジ

果實　種子　芽　花　根　莖　葉
シダ類　藻類　キノコ　カビ　バクテリヤ
ウサギ・ニハトリ・フナ・カヘル・バツタノ類ノ形態・解剖・生理・生態
普通ノ鑛物　岩石及土壤
空氣　燃燒　熱
水
酸　アルカリ
衣服　食物
樂器　蓄音機
鏡　レンズ
簡單ナル機械
熱機關
電氣
電流ト磁石
電流ト熱

植物及動物
形態　解剖
生理　生態並ニ分布
系統
有用植物及動物　有害植物及動物

生理及衞生
人體ノ構造
各器官ノ構造及作用
衞生並ニ普通ノ疾患

鑛物
主用ナル有用鑛物
火成岩　水成岩　變成岩　土壤
地殼構造ノ概要　地史ノ概要

生物通論
生物ノ生態
生物ノ進化
遺傳　變異　品種改良

物理
密度及比重
固體・液體及氣體ノ性質
比熱
熱ノ作用
大氣ノ乾濕
光度
光ノ反射及屈折
光ノ分散
磁氣
電流ノ強サ　電動力　抵抗
電流ノ作用
感應電流
眞空放電
放射能
力　運動
落體及拋射體
圓運動　廻轉運動
仕事及エネルギー
振動及波動
音波　光波　電波

化學
主ナル非金屬元素及其ノ化合物
主ナル金屬元素及其ノ化合物
主ナル有機化合物
化學量論ノ諸定律
分子量　原子量
化學式及化學方程式
酸　鹽基　鹽

第1231号　本文

第1231号　本文

第12311号 本文

養蠶
第五學年　每週三時乃至六時
耕種
果樹ノ栽培　育種
土壤及肥料
畜産
林業
水産
農業經營
農業政策

〔乙〕
第三學年　每週三時乃至五時
耕種
穀菽ノ栽培　農具
養蠶
第四學年　每週三時乃至五時
耕種
蔬菜　果樹　花卉ノ栽培
畜産
林業
水産
第五學年　每週三時乃至六時
耕種
工藝作物ノ栽培　育種
土壤及肥料
農業經營
農業政策

工業

〔甲〕
第四學年　每週三時乃至五時
工業ノ意義　工業ノ發達　工業ノ種類
工業用材料
機械製作作業
木型工　鑄工　鍛工　手仕上　機械仕上等
第五學年　每週三時乃至六時
動力機械
各種製造工業
建築

〔乙〕
第三學年　每週三時乃至五時
工業ノ意義　工業ノ種類
工業用材料
機械製作作業
木型工　鑄工　鍛工　手仕上　機械仕上等
第四學年　每週三時乃至五時
動力機械
各種製造業
第五學年　每週三時乃至六時
交通機關
建築
土木
道路　橋梁　水利等
工場經營
我ガ國ノ工業

商業

〔甲〕
第四學年　每週三時乃至五時
賣買
交通
倉庫
金融
取引所
單式簿記
第五學年　每週三時乃至六時
保險
外國貿易
商業助成機關
商業ノ經理
複式簿記

〔乙〕
第三學年　每週三時乃至五時
賣買
交通
倉庫
第四學年　每週三時乃至五時
金融
取引所
保險
單式簿記
第五學年　每週三時乃至六時
外國貿易
商業助成機關
商業ノ經理
複式簿記

實業（農業・工業・商業ヲ綜合セルモノ）

〔甲〕
第四學年　每週三時乃至五時
人生ト實業
作物
養蠶　家畜
農産物　水産物
製造加工
植林
建築　土木
動力ト機械
農業ト工業
第五學年　每週三時乃至六時
工業ノ種類
工産品
商業　商業ト農工業
賣買
金融
交通
保險
倉庫
貿易
企業
我ガ國ノ實業

〔乙〕
第三學年　每週三時乃至五時
人生ト實業
作物
家畜
農産物　水産物
製造加工
動力
機械
農業ト工業
第四學年　每週三時乃至五時
養蠶
紡績
工産品
商品
賣買
金融
交通
農工業ト商業
第五學年　每週三時乃至六時
植林
建築
土木
保險
倉庫
貿易
企業
我ガ國ノ實業

注意

一　實業ノ教授ハ地方ノ事情ニ順應シ實際生活ニ適切ナラシムベシ

二　實驗・實習・見學ヲ重ンジ勤勞ヲ尊重スル精神ヲ養フコトニ力ムベシ

三　工業ノ實習ハ別ニ要目ヲ示サズ各地方ノ情況ニ適切ナルモノヲ選定シテ之ヲ課スベシ

四　簿記ヲ教授スルニハ記帳練習ニ重ヲ置キ例題ハ實際取引ニ準據セシムベク且計算ハ珠算ニ依ラシムベシ

告示

◎外務省告示第十五號

大正九年二月九日「パリ」ニ於テ署名セラレタル「「スピッツベルゲン」ニ關スル條約」ニ對スル「チェッコスロヴァキア」國ノ加入ハ昭和五年七月九日佛蘭西國政府ニ通告セラレタリ（昭和六年二月二日附在本邦佛蘭西國大使通牒）

昭和六年二月七日　外務大臣　男爵　幣原喜重郎

◎大藏省告示第三十六號

割引歩合入札ノ方法ニ依リ左記要項ノ通大藏省證券ヲ發行スヘキニ付應募希望者ハ大藏省證券入札發行規程ニ基キ申込ヲ爲スヘシ

昭和六年二月七日　大藏大臣　井上準之助

一、證券ノ名稱　大藏省證券（ね號）
二、發行豫定額　額面八千五百萬圓
三、根據法　會計法第六條
四、證券ノ額面金額ノ種類　一萬圓及十萬圓ノ二種
五、發行日　昭和六年二月十六日
六、支拂期日　昭和六年三月十七日
七、申込締切日時　昭和六年二月十二日午後三時
八、申込取扱店　日本銀行本店及各支店
九、申込保證金　應募額面ノ百分ノ一
但シ大藏省證券入札發行規程第三條但書ニ規定スル者ノ申込ニハ之ヲ要セス
一〇、募入決定日　昭和六年二月十四日迄
一一、應募現金拂込期日　昭和六年二月十六日迄
一二、應募現金拂込場所　申込ヲ爲シタル取扱店
（注意）入札書及保證金拂込書ノ用紙ハ日本銀行本支店ニ備付ケアルニ付希望者ハ配付ヲ受ケラルヘシ

一〇

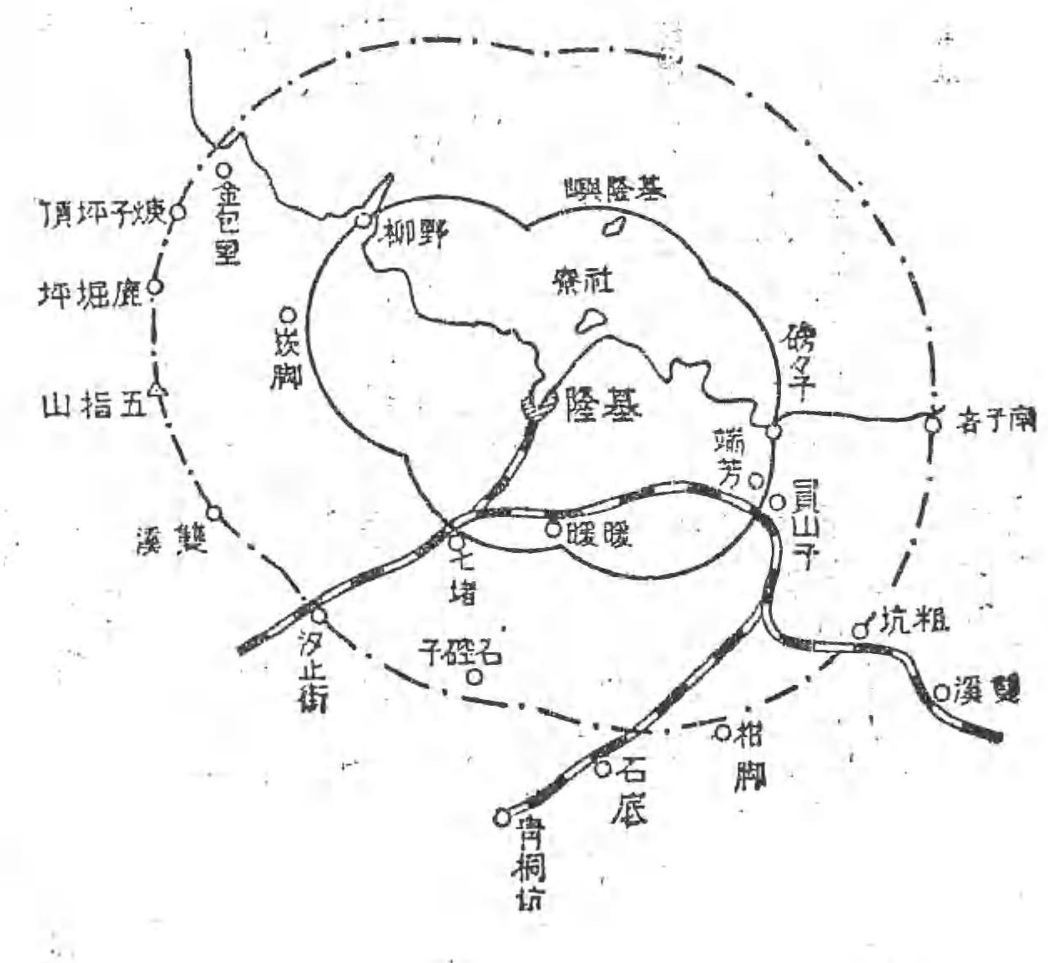
◎陸軍省告示第五號

大正八年陸軍省告示第二十三號中左ノ通改正ス

昭和六年二月七日　陸軍大臣　宇垣一成

圖ヲ左ノ如ク改ム

基隆要塞地



（參照）大正八年八月二十日陸軍省告示第二十三號ハ基隆ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帶並區域ノ件ナリ

◎陸軍省告示第六號

明治三十四年陸軍省告示第九號中基隆ノ部ヲ削ル

昭和六年二月七日　陸軍大臣　宇垣一成

（參照）明治三十四年十月十四日陸軍省告示第九號ハ各要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其區域ノ件ナリ

◎陸軍省告示第七號

要塞地帶法第十九條ニ依リ基隆要塞地ニ於ケル禁止制限解除ノ事項及其ノ區域ヲ左表ノ通定ム

昭和六年二月七日　陸軍大臣　宇垣一成

事項	區域
要塞地帶法第九條中漁獵、採藻、艦船ノ繫泊	臺北州基隆市大字社寮字八尺門、大字外木山、大沙灣、八斗子ノ各全部 臺北州基隆市大字社寮字社寮島、大字仙洞、大竿林ニ於ケル水面ノ一部
同第十條及第十一條第二號、第五號ニ揭クル事項	臺北州基隆市大字基隆字曾子寮ノ全部 臺北州基隆市大字社寮字社寮島、八尺門、大字大沙灣、田寮港、大水窟、仙洞、蚵殼港、牛稠港、深澳坑ニ於ケル一部
同第十六條中道路、橋梁、永久棧橋	第一區、第二區及第三區全部
備考	一　要塞地帶法第十一條中ニ揭クル事項ヲ解除シタル區域ニ於テハ同法第十四條中之ニ相當スル事項モ亦之ヲ解除シ別ニ表中ニ揭ケス 二　一部解除ノ區域ハ基隆要塞司令部、當該區域所屬ノ市役所、街庄役場、警察署、憲兵隊ニ備附ケアル圖面ニ就キ見ルヘシ

◎陸軍省告示第八號

昭和六年四月十二日陸軍戸山學校ニ入學セシムベキ軍樂生徒ヲ召募ス其ノ要項左ノ如シ詳細ハ昭和四年四月十八日官報公布陸軍省令第八號陸軍諸學校生徒採用規則ヲ參照スベシ

昭和六年二月七日　陸軍大臣　宇垣一成

一　採用豫定人員　十名
二　志願シ得ベキ年齡ノ者　明治四十四年四月二日ヨリ大正四年四月一日迄ニ出生ノ者
三　願書類受付期間　告示ノ日ヨリ昭和六年三月二十日迄
四　學科試驗ノ程度　高等小學校卒業程度

◎司法省告示第四號

北海道廣尾郡廣尾村役場昭和六年一月十一日火災ニ罹リ同役場ニ保存スル戸籍簿、除籍簿、寄留簿、寄留手續令第十一條ノ用紙全部燒失シタルニ付右再製上必要アルヲ以テ左ニ揭ケタル者ハ昭和六年五月三十一日迄ニ同村長ニ對シ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　昭和五年十二月一日ヨリ昭和六年一月十一日迄ノ間ニ於テ同村長ニ對シ戸籍ニ關スル屆出、訂正申請、報告又ハ請求ヲ爲シタル者ハ其ノ事項ヲ更ニ申出ツルコト

一　昭和五年十二月一日ヨリ昭和六年一月十一日迄ノ間ニ於テ同村長ニ對シ戸籍ニ關スル屆書、訂正申請書、報告書、請求書又ハ入籍通知書ノ送付ヲ爲シ又ハ同村長ノ發送ニ係ル此等ノ書類ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ書類ノ寫ヲ作リ之ヲ送付スルコト

一　大正三年十二月三十一日迄ニ同村長ニ對シ轉籍、本籍地變更、就籍又ハ除籍ニ關スル屆出ヲ爲シタル者ハ其ノ事項ヲ更ニ申出ツルコト

一　大正三年十二月三十一日迄ニ同村長ニ對シ轉籍屆書又ハ入籍通知書ノ送付ヲ爲シ又ハ同村長ノ發送ニ係ル此等ノ書類ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ書類ノ寫ヲ作リ之ヲ送付スルコト

一　現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ寄留ニ關スル屆出事項ヲ更ニ申出ツルコト

第1231号 本文

一同村ニ本籍ヲ有スル者ノ寄留地市町村長ハ寄留簿ニ基キ寄留手續令第十一條ノ用紙ニ記載ヲ要スヘキ事項ヲ謄寫シテ送付スルコト

（注意）

一申出ハ口頭ヲ以テ爲スモ差支ナキコト
一申出ノ手續ニ付不審ノ廉アラハ廣尾村役場又ハ帶廣區裁判所ニ就キ承合スルコト
一市町村長ノ送付スヘキ屆書類ノ寫ハ市役所町村役場又ハ區裁判所ニ保存スルモノニ就キ市町村長之ヲ謄寫スルコト

昭和六年二月七日　司法大臣　子爵　渡邊千冬

◉文部省告示第三十三號

靜岡縣靜岡市ニ設置セル靜岡縣立安倍農學校ノ名稱ヲ靜岡縣立靜岡農學校ニ、靜岡縣駿東郡金岡村ニ設置セル靜岡縣立駿東農林學校ノ名稱ヲ靜岡縣立沼津農學校ニ昭和六年二月六日ヨリ變更ノ件昭和六年二月六日認可セリ

昭和六年二月七日　文部大臣　田中隆三

◉農林省告示第二十四號

米穀法ニ依リ左ノ通內地米ノ買入ヲ行フ

昭和六年二月七日　農林大臣　町田忠治

一、買入豫定總數量
約百萬石　道府縣產米銘柄別數量ハ追テ告示ス
二、買入時期　申込及保證金受付ハ昭和六年二月二十日ヨリ同二十四日迄トシ買入決定ハ昭和六年二月二十五日トス
三、買入場所及受渡場所

買入場所	受渡場所（左記各地ニ於ケル政府指定倉庫）
東京	東京府、神奈川縣、栃木縣、茨城縣、群馬縣、福島縣、青森縣
大阪	大阪府、滋賀縣
神戶	兵庫縣
酒田	山形縣、秋田縣
門司	福岡縣、大分縣、熊本縣、山口縣
新潟	新潟縣、富山縣
名古屋	愛知縣、三重縣、岐阜縣
小樽	北海道

四、買入米ノ種類　道府縣ノ移出檢查又ハ之ニ準ズル檢查ニ合格シタル昭和五年產二重俵入（佐賀縣米及會津米ニ限リ叺入差支ナシ）內地水稻粳玄米中追テ告示スル政府買入價格表ニ價格ノ記載アル銘柄等級ニシテ之ニ相當スル品位ヲ有スルモノトス
五、買入價格　追テ告示スル買入價格表ノ定ムル所ニ依ル
買入代價トシテ交付スベキ米穀證券ノ額面金額ハ前項ノ買入價格ニ依ルモノトス
六、一口ノ申込數量　追テ告示スル買入價格表ニ示ス同一銘柄五十俵以上（受渡米ハ同一粒種等級二十俵ヲ下ルコトヲ得ズ）トス
七、保證金　一俵ニ付金一圓以上トス但シ優先者ノ申込ニ付テハ之ヲ要セズ
八、買入決定　追テ告示スル道府縣產米銘柄別買入豫定數量ノ限度內ニ於テ各銘柄ニ付買入ヲ決定スルモノトス
同一買入事務所ニ於ケル地方公共團體、販賣組合、販賣組合聯合會、農業倉庫業者及帝國農會農業倉庫業者ノ申込並道府縣郡市農會及帝國農會販賣斡旋所ノ代理申込ニシテ當該產米ノ地方長官ノ適當ト認ムル旨ノ副申アル申込ニ限リ其ノ他ノ申込ニ優先スルモノトス
銘柄別ノ申込數量ガ當該銘柄ノ買入豫定數量ヲ超過シタル場合ハ其ノ銘柄ニ付テハ政府ニ於テ抽籤ニ依リ買入順位ヲ定ムルモノトス
九、受渡期限　昭和六年三月三十一日迄トス

◉遞信省告示第二百四十三號

昭和六年二月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置
安積郵便局	兵庫縣宍粟郡神戶村

◉遞信省告示第二百四十四號

昭和六年二月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置
大根占郵便局	鹿兒島縣肝屬郡大根占村

◉遞信省告示第二百四十五號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和六年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置	改定名稱
茶志內郵便取扱所	北海道石狩國空知郡美唄町字茶志內市街	茶志內郵便局
杵端邊郵便取扱所	同北見國網走郡美幌町大字杵端邊村字アタロツプ	杵端邊郵便局

◉遞信省告示第二百四十六號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和六年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置
更別（サラベツ）郵便取扱所	北海道十勝國河西郡大正村大字幸震村字更別市街（中札內局集配區內）

◉遞信省告示第二百四十七號

大正十年十月遞信省告示第千二百二十三號中左ノ通改正ス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

「大阪市立都島工業學校　第三種」ノ次ニ
「愛知縣工業學校　第三種」及「岐阜縣第二工業學校　第三種」ヲ加フ

（參照）
大正十年十月十二日遞信省告示第千二百二十三號ハ電氣事業主任技術者資格ニ關スル件ナリ

◉遞信省告示第二百四十八號

昭和六年二月十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置	改定名稱
中鄉郵便取扱所	宮崎縣北諸縣郡中鄉村	中鄉郵便局
南津留郵便取扱所	大分縣北海部郡南津留村	南津留郵便局
奧浦郵便取扱所	長崎縣南松浦郡奧浦村	奧浦郵便局

◉遞信省告示第二百四十九號

昭和六年二月十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置
櫻井郵便局	愛知縣碧海郡櫻井村

◉遞信省告示第二百五十號

昭和六年二月十八日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置シ無線電報ニ限リ之ヲ取扱フ

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

名稱	位置	定繫港
第二小倉丸無線電信取扱所（ダイニコクラマルムセン）	小倉石油株式會社所屬汽船第二小倉丸	橫濱

◉遞信省告示第二百五十一號

昭和六年二月十八日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號海岸局、船舶局、指定局及託送發受所名等中「第三雲海丸」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和六年二月七日　遞信大臣　小泉又次郞

局名	呼出符號
第二小倉丸	JFVC

◉鐵道省告示第十四號

昭和五年三月鐵道省告示第六十八號連帶運輸ヲ爲ス鐵道、軌道及航路並連帶運輸ノ範圍第一條別表中左ノ通改正シ昭和六年二月十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年二月七日　鐵道大臣　江木翼

(201) 一畑（いちはた）電氣鐵道株式會社線ノ部ノ次ニ左ノ如ク改ム

(201)ノ二	琴平急行電鐵株式會社線	豫讚線 坂出　琴平急行電鐵線 琴平	旅客、手荷物、旅客附隨小荷物

◉鐵道省告示第十五號

昭和五年三月鐵道省告示第六十八號連帶運輸ヲ爲ス鐵道、軌道及航路並連帶運輸ノ範圍第一條別表中左ノ通改正ス

昭和六年二月七日　鐵道大臣　江木翼

「(174) 加太（かだ）輕便鐵道株式會社線」ヲ「(174) 加太（かだ）電氣鐵道株式會社線」ニ改ム

正誤

一昨五日遞信省告示第二百二十七號中三、機器裝置場所ノ下大洋丸ノ傍訓「タイヨウ」ハ「タイヨウマル」昨六日同第二百三十一號位置中「下益郡」ハ「下益城郡」ノ孰モ誤

遞信書記官

敍任及辭令

◉昭和六年一月二十七日
授旭日小綬章　正五位勳四等　山口謙爾

◉昭和六年二月三日
從七位勳八等　渡邊順四郞
敍勳七等授瑞寶章

◉昭和六年二月五日
海軍兵曹長從七位勳六等　若林勝本
任海軍特務少尉
營林局技手　松本秀雄
任營林局技師
敍高等官七等
敍從七位　松本秀雄

三級俸下賜　復興事務局書記官　三樹樹三
八級俸下賜　地方事務官　原口寅吉
補長崎縣壹岐支廳長　同　司馬元逸
補長崎縣南松浦支廳長
長崎縣勤務ヲ命ス　同　杉村誠一
三級俸下賜　同　早水金二郞
九級俸下賜　地方警視　山下菊次郞
補長崎縣長崎水上警察署長　同　中野諭
補長崎縣長崎警察署長　同　三宅久壽
補長崎縣佐世保警察署長　同　松田清吉
補長崎縣梅香崎警察署長
衞生技師　丸山鼎一
長野縣衞生技師ニ補ス
防疫醫　森川篤藏
六級俸下賜
熊本縣防疫醫ニ補ス
社會事業主事　中村幸太郞
佐賀縣社會事業主事ニ補ス（以上二月四日內務省）
河上弘一
株式會社日本興業銀行理事ヲ命ス（二月三日大藏省）
久宗董
株式會社臺灣銀行理事ヲ命ス
願ニ依リ株式會社臺灣銀行理事ヲ免ス（二月三日同）
襟裳分隊長海軍特務大尉　波多野次郞
吳鎭守府附被仰付
補襟裳分隊長　海軍特務中尉　德永友右エ門
補阿武隈乘組　海軍特務少尉　大澤清水
襟裳乘組海軍特務少尉　小林力松
補大井乘組
補襟裳乘組　海軍特務少尉　池上六三郞
襟裳分隊長海軍機關特務中尉　金重嘉平
吳鎭守府附被仰付
吳海兵團附兼教官海軍機關特務中尉　奧小太郞
補襟裳分隊長
吹雪乘組海軍機關特務少尉　北村厚隆
補韓崎乘組
韓崎乘組海軍機關特務少尉　山內瀧四郞
補吹雪乘組
矢矧乘組海軍機關特務少尉　中原喜一
吳鎭守府附被仰付
大井乘組海軍機關特務少尉　田村稻太郞
補矢矧乘組（以上二月五日吳鎭守府）
海軍特務大尉　波多野次郞
待命被仰付（二月四日同）
三日月乘組海軍機關特務少尉　本野清志
補川內乘組
川內乘組海軍機關特務少尉　原田寶俊
補三日月乘組（以上二月四日佐世保鎭守府）
十級俸下賜　營林局技師　松本秀雄
東京營林局在勤ヲ命ス（二月四日農林省）
鐵道局技師　高橋休藏
大阪鐵道局福知山運輸事務所長ヲ命ス
同　河合數一
大阪鐵道局福知山運輸事務所長兼務ヲ免ス
（以上二月四日鐵道省）
朝鮮總督府編修官　佐藤得二
學務局勤務ヲ命ス
朝鮮總督府檢事　堤良明
七級俸下賜
補京城地方法院仁川支廳檢事
朝鮮總督府鐵道局鐵道醫　橋本吉藏
五級俸下賜（以上二月四日朝鮮總督府）
朝鮮總督府專賣局事務官　碓井忠平
專賣局製造課長山澤和三郞出張不在中同課長代理兼務ヲ命ス（一月十六日同）
公立圖書館司書　大橋保
十級俸下賜（一月三十一日北海道廳）
師範學校教諭　江刺庄藏
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和六年一月二十日ヨリ年功加俸年額百參拾貳圓下賜（一月二十日同）
公立中學校教諭　鈴木榮觀
年功加俸　年額百五拾六圓下賜（一月三十日栃木縣）
公立實業學校長　大竹巽
昭和五年十月一日ヨリ年功加俸年額貳百拾六圓下賜（五年十一月二十日青森縣）
道府縣立感化院教諭　吉成德五郞
九級俸下賜（一月三十一日秋田縣）
公立中學校教諭　北條房太郞
年功加俸年額百五拾六圓下賜（一月三十日香川縣）

宮廷錄事

◉御答電　本月三日　天皇陛下ヨリ墺國大統領閣下ヘ御發送ノ御祝電ニ對シ一昨五日御答電アリタリ

彙報

○官廳事項

◉本邦駐箚米國大使一時離任　本邦駐箚米國特命全權大使ウイリアム、カメロン、フォーブスハ比律賓ヘ旅行ノタメ本月一日賜暇離任スヘキニ付其不在中ハ大使館一等書記官ユージン、エイチ、ドーマンニ於テ臨時代理大使タルヘキ旨同大使ヨリ去月三十日附ヲ以テ通知アリタリ

◉廢職　朝鮮總督府京畿道開城郡松都面長（奏任特遇）立川榮次ハ昭和五年九月十一日朝鮮總督府令第六十八號ヲ以テ同面ニ府制施行セラレタルニ因リ同九月三十一日廢職ト爲レリ

○陸海軍

◉水路告示第五號

一、艦船水路告示ヲ受領シタルトキハ速ニ其ノ關係圖誌ヲ改正增補スルヲ要ス、但シ一時關係告示ハ鉛筆記入ヲナスカ又ハ告示紙片ヲ適當ノ箇所ニ貼附シ置クモノトス
二、方位ハ眞方位（〇度ヨリ三六〇度ニ至ル）ヲ用ヒ要スレハ之ニ對スル磁針方位ヲ括弧內ニ記ス
三、時刻ハ秒位ヲ示ス必要アルモノノ外午前〇時ヲ〇〇〇〇トシ午後一二時ヲ二四〇〇トスル數字四箇ヲ以テ示ス二四時間制ヲ使用ス
四、項數ニ附記セル「米」符ハ該事項ニ關シ既ニ告示（豫告或一時關係）セルモノナルコトヲ示ス

第1231号　本文

記事　Isa Bay及Hodeida附近ニ於ケル水深及岸線等ニ關シ別紙貼附圖(三枚)ニ依リ海圖ヲ訂正ス(別紙略ス)
位置　Hodeida　北緯一四度四七分　東經四二度五六分　(概位)
海圖　三三三七—三三三九—三三〇一
出所　一九三〇年英告示二一一〇項

〇六年一七一項(二區)
Red Sea　Suez Bay—Kal ah Kebireh　燈標週期變更
記事　North Beacon ノ週期(毎五秒ニ一閃)ハ毎二½秒ニ一閃ニ變更セラレタリ
位置　北緯二九度五五⅗分　東經三二度三一⅗分　(概位)
略記　2Fl. R. W. (Vert.) ev. 2½sec., 57&49ft.
燈質　閃紅白光(二箇縦掲)毎二½秒ニ一閃　燈高高潮面上五七呎及四九呎
注意　海圖上 W. Beacon ヨリ五〇度五鏈ハノ所ニ前記燈標ノ位置記號ヲ記載シ置クヲ要ス
海圖　三三〇二
出所　一九三〇年英告示二〇四三項

〇六年一七二項(二區)
Africa 北東岸　Italian Somaliland—Cape Guardafui (Ras Asir)　無線羅針局及無線標識局位置等ニ關シ
記事　Cape Guardafui (Ras Asir) 無線羅針局(I S K)及同局内ニ在ル無線標識局(I S K)ノ位置ハ海圖上下記ノ通ナリト云フ依テ同位置ニ「⊕」符ヲ記載シ"R., R. G., R. C."ヲ附記ス
位置　北緯一一度四四分五〇秒　東經五一度一三分一五秒海圖三一八六號ニ依ル
注意　海圖上前記位置附近ニ記載ノ「無線方向測知所○」"W/T Fog. Sig. ○"ヲ削除シ置クヲ要ス
海圖　三一八六—三一八三—三一七五—三三三〇八—三一九九
誌類　誌一〇〇B燈臺表下卷二六〇頁三番—同二七二頁一番a—五年五七一項、同一二一三項
出所　一九三〇年英告示四二一號附票

〇六年一七三項(二區)
Java北岸—Tanjong Priok (Batavia Harbour)　西防波堤燈臺　燈質訂正
記事　西防波堤燈臺ノ燈質(明暗白光)ヲ不動白光ニ訂正ス
位置　西防波堤端　南緯六度〇五分　東經一〇六度五三分　(概位)
略記　F. 42ft. 11M.
燈質　不動白光其ノ他從前通
海圖　六一一—五九三
誌類　誌一九瓜哇海水路誌八二頁—誌一〇〇B燈臺表下卷一六八頁八三五番—二年二三一項
出所　一九二八年 Batavia 告示一七四項

〇六年一七四項(二區)
Java北岸—Pamanukan Rock　燈質等訂正
記事　Pamanukan Rock 燈標ノ燈質(閃緑光)ヲ閃白光ニ、光達一一浬ヲ一〇浬ニ訂正ス
位置　南緯六度〇一⅔分　東經一〇七度五二⅛分　(概位)
略記　Fl. ev. 1½sec. 10M.
海圖　六一四—六〇九
誌類　誌一九瓜哇海水路誌九六頁—十四年九五四項
出所　一九二八年 Batavia 告示一七四項

〇六年一七五項(二區)
New Guinea 北岸—Humboldt Bay 及 Hollandia Bay　淺瀨記載及削除
(一)記事　Humboldt Bay 下記各位置ニ淺瀨ヲ記載ス

位置 Tg. Suaja (Pt. Caillie) 東方約二〇〇米ノ岩「十」ヨリノ方位	距離	水深
(イ)一七七度(南〇三度東)	二一五〇米	三⅝尋
(ロ)一九三度(南一三度西)	二八〇〇米	四尋
(ハ)一九六度(南一六度西)	六二〇〇米	二⅜尋
(ニ)一九八度(南一八度西)	五八〇〇米	二⅞尋
(ホ)一九九度(南一九度西)	三三〇〇米	二⅜尋
(ヘ)二一五度(南三五度西)	二二〇〇米	四⅜尋
(ト)二二一度(南三六度西)	二六〇〇米	一½尋

岩「十」南緯二度三二分　東經一四〇度四七½分　(概位)

(二)記事　Humboldt Bay 下記各位置ニ圖載ノ淺瀨ヲ削除ス

位置 上記(一)岩「十」ヨリノ方位	距離(約)	水深
(イ)二一二度(南二七⅝度西)	三六五〇米	三尋
(ロ)二二九度(南四九度西)	三五〇〇米	二尋
(ハ)二三一½度(南四七度西)	二七五〇米	三尋

(三)記事　Hollandia Bay 下記各位置ニ淺瀨ヲ記載ス

位置 Suaja Moko (六七六)項ヨリノ方位	距離	水深
(イ)二八六度(北七四度西)	二一五〇米	五尋
(ロ)二九六度(北六四度西)	一五〇〇米	四⅜尋

Suaja Moko (六七六)項　南緯二度三一½分　東經一四〇度四六½分　(概位)
偏差　四⅜度東
海圖　八九八(分圖其一)—(一)(イ)、(ニ)、(ホ)、(ヘ)、(二)、(三)(イ)、八九四—(一)(ホ)、(二)(イ)、(ハ)、(三)(イ)八九三
誌類　誌二一B「ニューギネア」水路誌二卷(一)(二)七九頁(三)同八一頁
出所　一九三〇年米告示四〇九一項

〇六年一七六項(二區)
British Columbia—Gonzales　無線電信報時信號波長變更
記事　Gonzales (VAK) 無線電信報時信號波長(七〇五米)ハ七四〇米(四〇五「キロサイクル」)ニ變更セラレタリ
位置　北緯四八度二四½分　西經一二三度一九½分　(概位)
波長　七四〇米(四〇五「キロサイクル」)
誌類　誌三三北米合衆國西岸水路誌二〇頁—誌一〇〇B燈臺表下卷二五二頁二一番—五年七三一項(削除)
出所　一九三〇年英水路告示五一號附票

〇六年一七七項(二區)
Chile—Mocha I.　無線電信所及無線標識局存在
記事　Anegachiga Pt. 燈臺南東方至近所在 Mocha 無線電信所ニ於テハ方向探知機ヲ具備スル船舶ニ對シ其ノ要求ニ依リ送信スト云フ依テ海圖上同燈臺ニ"(R., R. C. Stns.)"ヲ附記ス
位置　南緯三八度二四分　西經七三度五三分　(概位)
呼出符字　C C H
電波　四二五「キロサイクル」(七〇五米)(Spk.)
執務時間　西經七五度標準時〇七〇〇至〇九〇〇間(緑威平時一二〇〇至一四〇〇間)、一二〇〇至一四〇〇間(緑威平時一七〇〇至一九〇〇間)及一九〇〇至二一〇〇間(緑威平時〇〇〇〇至〇二〇〇間)
信號法　船舶ハ一般ノ方法ニ依リ無線電信所ヲ呼出シ"QTE"ヲ三回送信ス無線電信所ハ其ノ呼出符字"CCH"ヲ一分三〇秒間繰返シ發信ス
海圖　三七七六—八〇八
誌類　誌一〇〇B燈臺表下卷二七四頁二七番(記入)
出所　一九三〇年英告示二一七號附票

〇六年一七八項(二區)
Chile—Juan Fernandez　無線標識局存在
記事　Juan Fernandez 無線電信所ハ無線方向探知機ヲ具備スル船舶ニ對シ其ノ要求ニ依リ送信スト云フ依テ海圖上 Juan Fernandez ニ附記セル"(W/T)"ヲ"(R., R. C. Stns.)"ニ改記ス
位置　南緯三三度三八分　西經七八度四八分　(概位)
呼出符字　C C J
電波　四二五「キロサイクル」(七〇五米)(C. W.)
執務時間　西經七五度標準時〇九〇〇至一二〇〇間(緑威平時一四〇〇至一七〇〇間)及二一〇〇至二三〇〇間(緑威平時〇一〇〇至〇三〇〇間)
信號法　船舶ハ一般ノ方法ニ依リ無線電信所ヲ呼出シ"QTE"ヲ三回送信ス無線電信所ハ其ノ呼出符字"CCJ"ヲ一分三〇秒間繰返シ發信ス
海圖　八〇八
誌類　誌一〇〇B燈臺表下卷二七四頁二九番(記入)
出所　一九三〇年英告示二一七號附票

〇六年一七九項(二區)
圖誌訂正
(一)海圖三五〇五號
海圖三五〇五號上 Dangerous Cape 燈臺(北緯五七度一六分 西經一五二度四〇分、概位)ヨリ一二五度ノ方向ニ斷線ヲ記載シ之ニ「此ノ線以北燈光遮蔽セラル」ヲ附記ス(一九三〇年米海陸測量部海圖八五〇二號)
(二)海圖三六四三號
海圖三六四三號上 Pt. Brown 燈臺(北緯四七度一八½分 西經一二三度二六½分、概位)ノ明弧ノ中北側限界線ヲ「二二三度」ニ訂正ス(一九三〇年米海陸測量部海圖六四〇七號)
(三)誌三〇布哇諸島水路誌
一一一頁最下ノ行「白塗承臺、白塗縱線畫標附塔」ヲ「紅塗縱線頭標附、白塗木造角錐形塔」ニ訂正ス(一九三〇年 Honolulu 告示一九四項)
(四)誌九〇B水路誌附錄二卷
五六五頁下ヨリ一三行目「吃水九・七五米(三二呎)」ヲ「吃水一〇・一米(三三呎)(一九三〇年)」ニ訂正ス(海圖三三〇二號參照)
(五)誌一〇〇B燈臺表下卷
燈臺表下卷二一九頁一〇八六番ノ構造欄ヲ「埠頭屋上ノ紅塗縱線頭標附白塗角錐形塔、木造」ニ改記ス(一九三〇年 Honolulu 告示一九四項)
(六)六年告五五項
略記中"Fl."ハ"Fl. R."ノ誤ニ付訂正ス

〇六年一八〇項
海圖改版

番號	圖名	圖誌目錄記入頁	尺度	圖積	區域種別	刊行年月	定價	記事
米六四六	バタン列島	四六	100,000分ノ一	全	二甲	昭和六年一月	一圓五十錢	一九二九年ノ米國海圖ヨリ採ル原圖ハ一九二八年迄ノ米國測量

海圖改版(二區)

番號	圖名	圖誌目錄記入頁	尺度	圖積	刊行年月	定價	記事
三七八六	ガイテカス諸島至ペニヤス海灣	七八	二一六,七一〇分ノ一	全	昭和六年一月	一圓五十錢	一九二九年ノ英國海圖ヨリ採ル原圖ハ智利國海圖ヨリ採リ智利國ノ測量及一八三〇—一八三五年英國ノ測量

海圖廢版

番號	圖名	刊行年月	記事
六四六	バタン列島	明治二十六年九月	昭和六年一月改版成ルヲ以テ廢ス
三七八六	ガイテカス諸島至ペニヤス海灣	大正十三年十一月	同上

書誌新版

番號	書名	發行年月	發行定日	定價
書誌第二〇一號	水路要報第十年第二號	昭和六年一月	毎月一日	二十錢

備考—米符ハ「メートル」式海圖ナルコトヲ示ス

〇項外
(一)千島列島　國後島北東端—安渡移矢岬燈臺霧信號休止
國後島安渡移矢岬燈臺(北緯四四度二七分 東經一四六度三四½分、概位)燈火及霧信號ハ例年ノ通二月一日ヨリ四月末日迄點燈並吹鳴ヲ休止ス
(二)北海道東岸　根室港口—辨天島燈臺(明暗白光)(北緯四三度二〇½分 東經一四五度三四½分、概位)及根室港防波堤燈臺(明暗緑光)(辨天島燈臺ヨリ二一〇度約七二〇米)ノ燈火ハ例年ノ通二月一日ヨリ同月末日迄點燈ヲ休止ス
(三)本洲南岸　東京海灣—浦賀水道　擱坐船存在
昭和六年二月一日大阪商船株式會社汽船「あらびあ丸」ハ高雄丸ト衝突シ觀音埼燈臺ヨリ七四度五、九〇〇米(北緯三五度一六分 東經一三九度四八½分、概位)ニ船首ヲ北ニ向ケ坐洲セシメタリ(水路部)
(四)下關海峽—大瀨戸　水底電線改設作業施行
遞信省工務局ニ於テ大瀨戸、田ノ首至大里間ノ水底電線改設ノ爲昭和六年一月二十日至同二月二十八日間荒天ニアラサル限リ毎日日出ヨリ日没迄百噸内外ノ國平船及小蒸汽船ヲ使用シテ作業ヲ施行ス。作業船ハ檣頭ニ危險信號トシテ大ナル赤旗及衝突豫防法第四條ニ規程セル形象ヲ連掲シ更ニ萬國船舶信號旗ノ「MF」ヲ掲揚ス。夜間ハ作業船ハ陸岸ニ近ク休業ス(門司税關港務部)
(五)Red Sea—Perim Island燈臺　燭光數増加
Perim Island 燈臺(北緯一二度三九分東經四三度二六分(概位))ノ燭光數ハ三三五〇、〇〇〇燭光ヨリ四八〇、〇〇〇燭光ニ增加セラレタリ(一九三〇年 Bombay 告示一六二項)
(六)Argentina　夏時使用ニ關シ
Argentina ニ於テハ一九三〇年一二月一日ヨリ一九三一年三月三一日迄標準時(西經六〇度)ヨリ一時間進ミタル時刻ヲ使用ス(一九三〇年英告示一九七二項)

昭和六年二月七日　水路部長　植村茂夫

注意(本記事ハ毎月頭ノ告示ニノミ附記ス)
水路告示ハ毎週土曜日(公休日ニ當ルトキハ次週月曜日)ノ官報ニ掲載ス、艦船ニテ告示印刷物ヲ受領スル迄ニハ相當時日ヲ要スヘキヲ以テ航海者ハ常ニ上記官報ニ注意スルヲ要ス
當部刊行ノ圖誌類ハ下記ノ各地ニ於テ販賣ス
日本郵船株式會社東京本店　〇横濱、大阪、神戸、長崎、門司、上海、名古屋ノ七支店　〇函館、基隆、小樽、釜山ノ四代理店及　大連出張所〇神戸日本船主協會
此ノ告示印刷物、水路報告用紙及航海報告用紙ハ若干部ヲ上記ノ圖誌販賣所ニ備ヘ置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス
下記各港ノ各國水路告示閲覽所ニハ一般航海者ノ閲覽ニ便スル爲當部水路告示ヲ送附シアリ

港名	場所
横濱	横濱税關港務部
大阪	大阪税關港務部
神戸	神戸税關港務部
門司	門司税關港務部
長崎	長崎税關港務部
函館	札幌遞信局海事部
室蘭	室蘭市廳
基隆	臺北州港務部
釜山	朝鮮總督府遞信局釜山海事出張所
仁川	同上仁川海事出張所
大連	關東廳海務局
Bangkok. (Siam.)	The Harbour Master.

第1231号 本文

Manila. (Luzon.)	U. S. Coast and Geodetic Survey Field Station, Intendencia Building, Manila.
Balik Papan. (Borneo.)	The Harbour Master.
Tandjong Priok. (Java.)	The Harbour Master.
Surabaya. (Java.)	The Harbour Master.
Durban. (Port Natal.)	Shipping Master at the Point Custom, Point, Port Natal.
Cape Town. (South Africa.)	The Port Captain-Cape Town.
Seattle. (U. S. A.)	Branch Hydrographic Office.
Portland, Oreg. (U. S. A.)	Branch Hydrographic Office.
San Francisco. (U. S. A.)	Branch Hydrographic Office.
San Pedro (U. S. A.)	Branch Hydrographic Office.
Mexique, Mexico.	Secretria de Communicaciones y Obras Publicas, Departomento de Marina Mercante y Faros de Mexico-Mexico.
Cristobal. (Panama.)	Port Captain, Cristobal, Canal Zone.
Valparaiso. (Chile.)	Officina de Informacions Para la Marina Mercante.
New York. (U. S. A.)	Branch Hydrographic Office.
Portsaid. (Egypt.)	Bureau du Capitaine du Port.
Piraeus. (Greece.)	Capitainere du Port.
Barcelona. (Spain.)	Autoridad Maritima del Puerto.
Malaga. (Spain.)	Autoridad Maritima del Puerto.
Le Havre. (France.)	La Direction Générale du Port Autonome du Port.
Antwerp. (Bergium.)	Pilotage, Marché du Blé Zélande.
Rotterdam. (Netherland.)	Harbour Master's Office.
Bremen. (Germany.)	Berichtgungsstelle "Seekarte" G. M. B. H., Contrescarpe 206.
Hamburg. (Germany.)	Deutsche Seekarten Berightigungs-Institut Herrngraben, Javahaus.
Gdynia. (Danzig.) (Poland.)	Kaptanat Portu. (Pologne)
Stokholm. (Sweden.)	Hamnkontoret.
Oslo. (Norway.)	Oslo Havnevesen, Havneopsynet.

此ノ告示印刷物ハ下記ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ隨時該所ニ就テ閲覽スルヲ得ヘシ

東京市埠頭事務所、海員協會橫濱出張所、名古屋港務所、大阪市役所港灣部築港事務所、神戶海員協會、宇品陸軍運輸部本部、製鐵所總務部運輸課、三井鑛山株式會社三池港務所、長崎稅關港務部口ノ津出張所、同嚴原出張所、高雄州港務部、淸津海事出張所、淸津海事會支部、城津稅關支署、元山海事出張所、元山海事會支部、釜山海事出張所、釜山海事會支部、木浦府廳、木浦海事出張所、木浦海事會支部、仁川稅關、仁川海事會支部、京畿道廳、京城府廳、鎭南浦海事出張所、鎭南浦海事會支部、新義州海事出張所、新義州海事會支部、主要ナル朝鮮沿岸各地ノ郡廳、大連南滿洲鐵道株式會社埠頭事務所、旅順市關東廳海務局支局、南洋廳○浦鹽斯德領事館、亞港領事館オハ分館、安東領事館、牛莊領事館、芝罘領事館、天津領事館、青島領事館、上海總領事館、南京領事館、蕪湖領事館、九江領事館、漢口領事館、福州總領事館、廈門領事館、汕頭領事館、香港總領事館、廣東領事館、河內總領事館、西貢領事館、盤谷領事館、新嘉坡總領事館、蘭貢領事館、カルカッタ總領事館、コロンボ領事館、ボンベイ領事館、マニラ總領事館、同ダバオ分館、バタビア總領事館、スラバヤ領事館、シドニー總領事館、ホノルル總領事館、バンクーバー領事館、シヤトル領事館、ポートランド領事館、桑港總領事館、ロサンゼルス領事館、パナマ領事館、駐日各大公使領事館、締盟諸外國水路部

○學事

◉學生入校　陸軍戶山學校甲種學生トシテ左記四十二人本月二日入校セリ(陸軍省)

陸軍步兵中尉	村上　毅	同	田澤　啓三
同	野村三千男	同	齊明寺覺次郎
同	矢崎　馨一	同	靜間　勝之
同	宮崎　光雄	同	鎌賀　晴一
同	苹戶口憲一	陸軍騎兵中尉	梅崎　吉春
同	出淵　勳	陸軍輜重兵中尉	佐藤　啓治
同	中尾　新吾	同	村上　時義
陸軍步兵少尉	大原　篤一	同	丸岡　茂雄
同	近藤　傳八	同	大崎　邦男
同	堀內　岳次	同	石川　寬一
同	池田　早苗	同	伊藤智次郎
同	植田　稔	同	山田　歸一
同	渡邊　義勇	同	宮崎　莊治
同	川口小次郎	同	鶴田　國衞
陸軍騎兵少尉	柳堀　富造	同	加用　秀逸
同	古泉直治郎	同	鈴木　重雄
同	江口　一男	同	鈴木不二夫
同	藤崎　公雄	同	宮坂　知明
同	幸　修三	同	葛西　壽
陸軍輜重兵少尉	關根淸二郎	同	片田　寬三
同	昆野　英雄	同	小林幸太郎

◉卒業證書付與　野砲兵第五聯隊ニ於テ去月三十日陸軍砲兵一等卒中村喜一(山口縣)ニ蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ(陸軍省)

◉帝室博物館來觀人員　東京及奈良兩帝室博物館ニ於ケル昭和六年一月中(開館日數二十七日)ノ來觀人員左ノ如シ(宮內省)

	大人	小兒	特別觀覽人	團體觀覽人	無料觀覽人	學校生徒及教員等	計
東京帝室博物館	三、四四九	二二九	一五	二四三	一三六	六八二	四、七五四
奈良帝室博物館	五九六	一五	一	〇	一〇	四九	六七一
總計	四、〇四五	二四四	一六	二四三	一四六	七三一	五、四二五

○財政

◉大藏省預金部狀況　昭和六年一月末日現在大藏省預金部狀況左ノ如シ(△印ハ減)(大藏省)

種別	金額	一月十五日現在高ニ比シ增減
貸方ノ部	圓	圓
郵便及振替貯金	二、四六五、七五二、三二七	四五、四五五、三二四
復興貯蓄債券收入金預金	七九、五五八、一七〇	—
各特別會計其他預金	二六七、一〇六、八八五	△ 四六八、九一二
預金部積立金	二六五、六六三、八七六	—
預金部收入金	一一一、四三一、五〇八	三、六九一、四一〇
合計	三、一八九、五一二、七六六	四八、六七七、八二三
借方ノ部		
國債證券	九〇七、三六七、三四〇	△ 一〇、一九四、七三五
地方債證券	四七六、七九七、三〇九	一〇、九三六、五〇〇
勸業債券	四〇六、五四二、三三三	一一、三六二、三三〇
興業債券	六三、三三四、三〇〇	—
其他債券	三一六、三七四、二〇〇	五、三七六、四三一
支那政府債券	一一、〇六六、四五五	—
四分利付支那債券元利補償證書	三三、一一一、六七三	—
英國大藏省證券	九、二〇八、五二七	二、三四九、七四〇
貸付金	六五一、八七九、九四九	—
在外預金	九六、八六四、九〇三	一六、三八五
內地預金	一一三、九六八、九一一	二八、六〇五、七〇九
預金部支出金	一一四、九九六、七六六	四二五、四七二
合計	三、一八九、五一二、七六六	四八、六七七、八二三

○產業

◉辨理士登錄簿登錄及抹消　辨理士登錄簿ニ登錄セラレタル者及登錄ヲ抹消セラレタル者左ノ如シ(特許局)

年月日				
五年一二、二三	登錄抹消			奧田　大治
同	同			鈴木　千家
同	同			戶水　寬人
六年一、六	新規登錄	東京市小石川區西丸町二十八番地越石芳雄特許事務所		堤　良綱
同八	登錄抹消			髙橋　宗房
同一二	新規登錄	東京府豐多摩郡中野町大字本鄉九番地		三上　英一郎
同	同	東京市芝區神明町十番地大門ビルディング內		髙橋綱一郎
同	同	東京府豐多摩郡淀橋町柏木百二十三番地		木畑　五郎
同	同	同府同郡中野町字宮前五百十一番地		重田　守賢
同	同	大阪市西淀川區姬島町千八百七十九番地		山池　浩
同	同	名古屋市南區熱田須賀町十一番地		堀部先之助
同	同	同市東區東二葉町四十四番地		大澤　鷲雄
同	事務所移轉	東京市京橋區銀座西六丁目一番地ノ二		柴田時之助
同一六	新規登錄	同市麴町區麴町二丁目十五番地大橋二郎特許事務所		大川甚太郎
同一七	事務所移轉	同市京橋區銀座西六丁目一番地		藤井德三郎
同二〇	同	同市同區銀座西六丁目一番地二號		井口　定雄
同	新規登錄	東京府北豐島郡巢鴨町大字上駒込三百七十八番地		有泉　茂
同二四	登錄抹消			安田　佳藏
同	事務所移轉	名古屋市西區傳馬町三丁目十七番地中央金物新報社內		小方　貫一
同二六	新規登錄	同市東區東芳野町二丁目六十八番地		水谷　鍈三
同	同	東京市麴町區丸ノ內二丁目二番地丸ノ內ビルディング石特許事務所		坪井　秋朔
同	同	同市下谷區竹町二十八番地		新井　良一
同	同	大阪市東成區大宮町六丁目三十八番地		木村　皎
同	同	岡山縣都窪郡中洲村大字酒津千六百五十二番ノ一地		齋藤　義一
同	同	東京府豐多摩郡井荻町大字上荻窪九百四番地		平松　才次
同	同	同府同郡中野町本町通四丁目十八番地		結城　重吉
同三〇	事務所移轉	大阪市東區內久寶寺町三丁目三十一番地、五十次事務所內		檜垣精三郎
同	同	東京府北豐島郡巢鴨町三丁目十六番地辯護士金原政太郎方		平川　利光

○通運

◉地方鐵道運輸開始　大井川鐵道株式會社所屬鐵道鹽郷(假)、下泉間本月一日ヨリ運輸營業開始ノ旨屆出アリタリ其粁程左ノ如シ(鐵道省)

驛名	所在地	粁程
鹽郷(假)	(既設驛)	
下泉(しもいづみ)	靜岡縣志太郡德山村大字下泉	鹽郷(假)、下泉間　粁 三・一 分

帝國議會

○貴族院

◉報告書提出　昨六日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第一號

◉書類配付　昨六日左ノ書類ヲ配付セリ

議事日程第十二號

右郵送

請願委員會特別報告第一號

右文書函ニ投入

◉議事日程　今七日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程　第十二號

昭和六年二月七日(土曜日)

午前十時開議

第一　國務大臣ノ演說ニ關スル件(第十一日)

第二　著作權法中改正法律案(政府提出)　第一讀會

○衆議院

◉會議　一昨五日ノ本會議議事經過左ノ如シ

午後一時五十分開議

議長ハ開議ノ宣告ヲ爲シ次テ都合ニ依リ暫時休憩ヲ爲ス旨ヲ宣告ス

(午後一時五十五分休憩同三時五十八分再開)

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

右兩案ハ一括シテ院議ニ付シ各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ議長指名(二十七名ノ同一委員)ニ決ス

刑事補償法案(政府提出)

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ議長指名(十八名)ニ決ス

議事日程ヲ變更シ此際議員深澤豐太郎君同藤井達也君懲罰事犯ノ件ヲ上程シ委員長ノ報告ヲ求メ其審議ヲ進ムヘシトノ動議(作田高太郎君提出)

右動議ハ之ニ關聯セル濱田國松君ノ議事進行ニ關スル發言ヲ許可シタル後採決シ院議之ヲ可決ス

(自午後八時二十二分至同十一時二十六分祕密會)

議長ハ會議ヲ公開スル旨ヲ宣告シ次テ定刻ヲ經過セルニ依リ本日ハ是ニテ散會スル旨ヲ宣告ス

午後十一時二十七分散會

◉國務大臣出席　井上大藏大臣、俵商工大臣、町田農林大臣、松田拓務大臣、小泉遞信大臣ハ一昨五日ノ會議ニ出席セリ

◉國務大臣演說　井上大藏大臣、俵商工大臣、町田農林大臣ハ一昨五日ノ會議ニ於テ演說セリ

◉委員會　今七日開會ノ委員會左ノ如シ

豫算委員會

午前十一時

地租法案(政府提出)外六件委員會

午後一時

米穀法中改正法律案(政府提出)外一件委員會

午前十時

在外公館報告

◉玖馬國ノ本年度砂糖生產額　本件ニ關スル本月四日著ハヴァナ駐在領事渡邊知雄電報左ノ如シ(外務省)

過般歐洲ニ於ケル砂糖限產協定成立ノ結果トシテ玖馬カ本年度ニ於テ生產シ得ル砂糖ノ額ハ三百六十万五千噸(一噸ハ二千二百四十封度)ト爲ル所(內二百八十万噸ハ對米輸出額十五万噸ハ國內消費額六十五万五千噸ハ北米以外ノ諸國ニ對スル輸出額)右ノ內旣ニ對米契約濟ノモノ二十二万三千噸及前年度滯貨中ヨリノ市場控除額二十六万噸(政府買上額ニシテ本年度輸出ヲ要スルモノ)ヲ減スル場合本年度新ニ生產ヲ要スル額ハ結局三百十二万二千噸ト爲ル次第ナルカ玖馬政府ハ一月三十一日附大統領令ヲ以テ本年度砂糖生產ヲ右ノ額ニ限定スル旨發布セリ

◉傳染病報告　本件ニ關シ在靑島日本帝國總領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ

地名	期間	病名	患者	死者
靑島	五年十二月中	猩紅熱	九	一
靑島總領事館管內昨年初發以來累計		同	五二	五

本件ニ關シ在汕頭日本帝國領事館ヨリ左ノ如ク報告アリタリ(以上內務省)

地名	期間	病名	患者	死者
汕頭	五年十二月中	痘瘡	一〇	七
汕頭領事館管內昨年初發以來累計		同	五〇	一六

觀象

◉全國氣象

(備考)　氣溫ノ－ハ氷點下ノ度ナリ「天氣ノ○ハ快晴、◐ハ晴、○ハ曇、●ハ雨、⊛ハ雪、◎ハ霧、⊕ハ霰雨、⊙ハ濃煙霧ナリ」雨量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時マテノ總量ナリ

二月三日

地名	氣溫(攝氏) 最高	氣溫(攝氏) 最低	天氣 午前六時	天氣 午後六時	降水量(粍)
パラオ	29.0	23.4	○	○	—
恒春	29.5	16.0	○	○	—
澎湖島	27.3	20.1	○	○	—
臺北	28.7	16.1	○	○	—
那覇	24.4	20.3	◐	◐	—
鹿兒島	18.0	7.2	○	○	10
宮崎	17.9	9.3	○	○	—
熊本	17.8	6.3	○	○	1
高知	19.6	4.1	○	○	—
福島	14.3	3.7	○	—	—

第 1231 号 本文

地名	最高	最低	午前六時	午後六時	降水量
和歌山	15.5	4.7	○	○	—
大分	13.1	2.9	◎	○	—
松山	13.7	4.2	○	○	—
多度津	11.9	2.0	○	○	—
廣島	13.0	2.8	○	○	—
岡山	13.5	0.2	⊙	○	—
神戸	13.9	4.8	○	—	—
大阪	15.3	3.6	○	◐	—
京都	16.1	1.3	○	—	—
八木	15.1	0.8	○	—	—
長崎	16.4	3.8	○	○	—
佐賀	15.0	3.8	○	—	—
福岡	16.5	1.0	⊙	○	—
嚴原	14.8	3.7	○	○	—
下關	14.7	5.5	⊙	○	—
濱田	15.7	3.1	○	○	—
境	12.5	7.5	○	○	—
津	12.7	3.3	○	—	—
岐阜	14.8	1.2	○	—	—
名古屋	15.3	1.9	○	⊙	—
濱松	17.1	6.0	◐	○	—
沼津	16.5	6.8	◐	○	—
橫濱	9.4	6.1	○	○	1
東京	9.7	5.9	○	○	1
熊谷	8.3	5.2	○	—	—
銚子	10.8	7.0	○	○	—
父島	23.8	15.2	○	○	—
高山	8.8	−3.0	⊙	◐	—
飯田	11.2	−2.4	⊙	—	—
松本	3.6	−1.8	○	—	—
長野	7.0	−2.9	○	○	—
甲府	16.8	−0.5	○	○	—
前橋	10.0	4.2	○	○	9
宇都宮	8.0	2.6	○	○	—
福島	9.1	−4.1	○	◐	—
彥根	11.6	0.9	○	—	—
福井	10.7	−0.6	○	◐	—
金澤	9.2	0.8	○	—	—
伏木	9.5	0.1	○	—	—
高田	7.4	−3.0	○	—	—
新潟	7.4	−0.7	○	◐	—
山形	8.2	−6.3	◐	—	—
秋田	3.7	−7.7	○	○	1
水戸	7.2	2.6	○	—	—
石卷	5.0	−3.5	○	○	—
盛岡	3.3	−8.9	○	○	—
宮古	6.6	−6.8	○	◐	—
青森	0.6	−6.1	○	✳	3
函館	−0.6	−7.2	○	○	—
壽都	−3.1	−5.1	✳	—	1
札幌	−2.0	−11.3	✳	✳	13
羽幌	−4.4	−19.2	○	—	1
旭川	−6.8	−14.3	✳	✳	1
浦河	−1.6	−9.1	○	○	—
帶廣	−5.6	−22.5	○	○	—
網走	−9.3	−15.0	○	○	1
釧路	−5.1	−14.7	○	—	—
根室	−7.3	−11.7	◐	○	—
紗那	−9.3	−13.3	✳	○	—
大泊	−12.7	−24.8	○	✳	—
敷香	−17.3	−27.4	○	○	—
釜山	12.7	4.9	○	○	—
木浦	11.5	3.0	◐	○	1
仁川	7.8	−0.8	◐	○	6
江陵	6.3	−1.8	○	○	5
元山	1.6	−1.4	●	○	3
城津	−2.0	−5.3	✳	✳	1
雄基	−6.3	−10.9	○	○	—
新義州	3.7	−2.5	⊙	○	—
大連	−1.2	−7.5	○	○	—
營口	−6.2	−12.6	○	○	—
奉天	−9.0	−14.7	◐	○	—
長春	−12.8	−21.3	○	○	—
天津	−1.7	−4.8	○	○	—
青島	5.7	2.5	○	◑	3
上海	13.4	7.2	○	○	—

同 四日

地名	氣溫(攝氏) 最高	氣溫(攝氏) 最低	天氣 午前六時	天氣 午後六時	降水量(粍)
パラオ	29.9	23.0	○	○	3
恒春	29.7	16.0	○	○	—
澎湖島	27.0	19.4	○	○	—
臺北	31.2	17.5	○	○	—
那覇	25.0	20.3	○	○	—
鹿兒島	17.3	12.7	○	●	13
宮崎	16.2	12.1	●	○	4
熊本	16.8	8.7	○	○	3
高知	16.0	8.9	○	●	2
德島	13.1	5.9	○	—	1
和歌山	16.2	7.1	○	○	6
大分	11.9	5.6	○	○	1
松山	13.9	6.2	○	○	—
多度津	11.6	5.8	○	○	—
廣島	13.0	5.7	○	○	1
岡山	13.4	5.4	○	○	2
神戸	14.0	6.8	○	—	1
大阪	15.5	7.2	○	○	1
京都	17.0	4.7	○	—	1
八木	14.7	4.6	○	—	2
長崎	15.9	9.6	○	○	2
佐賀	15.0	8.3	◐	—	1
福岡	14.7	5.8	○	○	—
嚴原	13.7	7.7	○	●	3
下關	11.8	7.2	○	●	1
濱田	14.1	5.3	○	○	—
境	11.4	4.9	○	○	—
津	14.1	7.1	○	—	5
岐阜	15.0	4.6	○	—	—
名古屋	16.0	4.5	○	○	—
濱松	16.9	6.8	○	○	1
沼津	12.8	7.8	○	—	—
橫濱	6.2	4.2	○	●	1
東京	6.3	4.5	○	●	2
熊谷	6.2	4.8	●	—	—
銚子	9.9	7.0	○	●	4
父島	22.6	14.1	○	◐	—
高山	4.8	−4.5	○	○	2
飯田	12.0	0.7	○	—	—
松本	6.8	−1.5	○	—	1
長野	8.1	−1.4	○	●	1
甲府	8.5	3.5	○	●	—
前橋	5.7	1.3	○	●	1
宇都宮	6.0	2.4	○	●	—
福島	3.9	−1.8	○	○	3
彥根	11.3	2.9	○	—	—
福井	10.3	−0.2	○	○	1
金澤	10.4	1.6	○	—	1
伏木	9.1	0.5	○	—	2
高田	7.5	−1.7	○	—	1
新潟	6.8	−0.7	○	○	5
山形	2.8	−3.8	○	—	1
秋田	1.3	−1.8	✳	○	2
水戸	6.6	3.1	○	—	5
石卷	2.8	−1.0	○	○	2
盛岡	0.8	−4.3	✳	○	3
宮古	2.6	−3.3	○	✳	10
青森	−1.6	−7.0	○	○	1
函館	−2.7	−12.5	○	○	—
壽都	−3.5	−5.5	○	—	1
札幌	−6.1	−11.3	✳	○	2
羽幌	−5.5	−22.0	◐	—	1
旭川	−8.6	−16.3	○	○	—
浦河	−3.8	−10.0	○	○	—
帶廣	−10.6	−24.4	○	○	—
網走	−10.2	−17.1	✳	○	—
釧路	−10.0	−18.2	○	—	—
根室	−9.4	−15.5	○	○	—
紗那	−12.5	−14.8	○	✳	—
大泊	−12.4	−24.7	○	✳	—
敷香	−18.3	−38.1	○	○	—
釜山	11.4	7.0	○	○	2
木浦	11.7	5.5	●	○	11
仁川	4.3	1.1	●	●	22
江陵	1.7	0.5	●	●	74
元山	−0.1	−4.0	✳	✳	29
城津	−4.0	−8.2	✳	✳	2
雄基	−5.1	−12.0	○	○	—
新義州	−1.2	−3.4	○	○	—
大連	−7.4	−9.1	○	○	—
營口	−8.5	−13.1	○	○	—
奉天	−9.8	−14.9	○	○	—
長春	−15.2	−21.1	○	○	—
天津	−1.2	−4.1	○	○	—
青島	8.0	−3.4	○	○	—
上海	10.9	5.5	○	●	11

◉東京氣象

二月四日 天氣概况 雨時々曇

平均氣壓(海面ノ度) 七六二・八粍
平均氣溫 五・三度
平年ヨリ二・五度 高シ
最高氣溫 六・三度
最低氣溫 四・二度
前五日間平均氣溫 五・五度
平年ヨリ二・七度 高シ
平均濕度 九〇%
平均水蒸氣張力 六・〇粍
平均雲量 一〇・〇
日照時間 〇・〇時
平均風速度 三・七米(秒)
最大風速度 五・八米(秒)
最多風向 北
降水總量 一・三粍
一時間最大降水量 〇・三粍
記事 前日來ノ雨午前三時二十分ニ歇ミ同七時四十分ヨリ同八時二十分マデ、同十一時五十分ヨリ午後三時十分マテ、同四時三十分ヨリ翌日ニ亘リ降雨アリタリ

(以上中央氣象臺)

廣告

◉高等試驗(行政科、外交科、司法科)公告

高等試驗(行政科、外交科、司法科)施行ニ付高等試驗令(大正十二年勅令第百九十七號)及高等試驗令施行細則ニ依リ左記ノ通公告ス

昭和六年二月

高等試驗委員長 川崎卓吉

(一)出願期限

一 豫備試驗ヲ受クル者ニ在リテハ 昭和六年四月一日ヨリ同年同月二十五日迄

其ノ他ノ者ニ在リテハ 昭和六年五月一日ヨリ同年同月二十五日迄

(二)試驗ノ期日及場所

豫備試驗及本試驗ノ試驗期日及場所ハ追テ公告ス 但シ豫備試驗ハ五月上旬頃、本試驗筆記試驗ハ行政科ニ在リテハ六月中旬、司法科ニ在リテハ六月下旬、外交科ニ在リテハ七月上旬ヨリ施行ノ豫定

(三)受驗願書、履歴書等

(イ)願書ニハ十五圓ノ收入印紙ヲ貼附スヘシ 但シ消印スヘカラス

(ロ)高等試驗令ニ依ル出願者ハ受驗願書(第一號書式)ニ履歴書(第二號書式)及高等試驗令第七條又ハ第八條ノ規定ニ該當スル者ナルコトヲ證スル書類並ニ出願前一年以内ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ必ス添附スヘシ

(ハ)大正十二年勅令第百九十七號ニ依リ豫備試驗ノ免除ヲ申請セントスル者ハ受驗願書(第一號書式)ニ履歴書(第二號書式)、豫備試驗免除申請書(第三號書式)及明治二十四年司法省令第三號判事檢事登用試驗規則ニ依ル試驗ノ受驗ヲ出願シタル者ナルコトヲ證スル書類並ニ出願前一年以内ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ必ス添附スヘシ

(ニ)一ノ科ノ筆記試驗ニ合格シタル者高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ其ノ科ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ筆記試驗免除願書(第四號書式)ヲ添附スヘシ

(ホ)一ノ科ノ本試驗ニ合格シタル者ニシテ他ノ科ノ本試驗ヲ受ケントスル者高等試驗令第十八條ノ規定ニ依リ其ノ既ニ受驗シタル科目ノ試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ科目受驗免除願書(第五號書式)ヲ添附スヘシ

(ヘ)願書及添附書類ハ東京市麴町區元千代田町(丸ノ内和田倉門内)内閣内高等試驗事務所ヘ持參又ハ書留郵便ニテ出願期間中ニ必ス到達スル様差出スヘシ

(ト)尚受驗願書用紙等希望者ハ送付先ノ氏名及場所ヲ記載シ且二錢切手ヲ貼附シタル封筒ヲ添ヘ本試驗ノ分科ヲ示シ(大正十二年勅令第百九十七號高等試驗令第十七條又ハ同令第十八條ニ依リ出願セントスル者ハ其ノ旨ヲ表示シ)高等試驗事務所ニ申出ツヘシ

(第一號書式)(用紙美濃紙)

高等試驗受驗願書

本籍 何府縣郡市町村何番地
戸主又ハ何某何男兄弟
現住所 何府縣郡市町村何番地
(何某方)

印紙

氏名(氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ)
年 月 日生

私儀高等試驗(行政科外交科司法科)(受驗セントスル科名ヲ記入スヘシ)相受ケ度別紙履歴書、豫備試驗免除申請書(大正十二年勅令第百九十七號ニ依ル出願者ニ限ル)、筆記試驗免除願書(高等試驗令第十七條ノ規定ニ依ル出願者ニ限ル)、科目受驗免除願書(高等試驗令第十八條ノ規定ニ依ル出願者ニ限ル)及證明書(又ハ證書)並ニ寫眞相添へ此段相願候也

(一)本試驗筆記試驗ノ受驗科目
必須科目 何々
選擇科目 何々
(二)本試驗口述試驗ノ受驗科目 何々
(三)豫備試驗ノ外國語 英(佛、獨等)(豫備試驗受驗者ニ限ル)

年 月 日
氏名 印
高等試驗委員長氏名宛

(備考)

(イ)東京市内又ハ其ノ附近ニ現住所ヲ有セサル者ハ試驗委員長ヨリ發スル通知書ヲ受取ルヘキ場所ヲ必ス左記ニ依リ追記スヘシ [illegible]
御通知書ハ左記ヘ御送付相成度候
東京市何區何町(何丁目)何番地(何某方)

(ロ)本年豫備試驗ノミヲ受ケントスル者ニ在リテモ願書ニハ本試驗ノ分科、筆記試驗ノ受驗科目及口述試驗ノ受驗科目ヲ豫定記載スヘシ

(ハ)二科以上ノ試驗ヲ併セ受ケントスル者ハ各別ニ受驗願書及履歴書並ニ出願前一年以内ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ差出スヘシ

(ニ)一ノ科ノ筆記試驗ニ昨年合格シタル者高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ其ノ科ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ本書式中ノ前段ニ在ル氏名ノ上ニ「(昨年筆記試驗合格者)」ト記入シ、本書式中「本試驗筆記試驗ノ受驗科目」ノ部ハ左ノ如ク記載スヘシ

昨年ノ本試驗筆記試驗ニ於テ受驗シタル科目 何々

(ホ)一ノ科ノ本試驗ニ合格シタル者ニシテ他ノ科ノ本試驗ヲ受ケントスル者高等試驗令第十八條ノ規定ニ依リ其ノ既ニ受驗シタル科目ノ試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ本書式中ノ前段ニ在ル氏名ノ上ニ「(何々科合格者)」ト記入シ、本書式中「本試驗筆記試驗ノ受驗科目」及「本試驗口述試驗ノ受驗科目」ノ部ハ左ノ如ク記載スヘシ

(一)本試驗筆記試驗ノ受驗科目
(イ)免除ヲ受クヘキ科目 何々
(ロ)受驗スヘキ科目 何々
(二)本試驗口述試驗ノ受驗科目
(イ)免除ヲ受クヘキ科目 何々
(ロ)受驗スヘキ科目 何々

(第二號書式)(用紙美濃紙)

履歴書

氏名

學業
一 何年何月何官公私立何學校ニ入學
一 何年何月卒業
一 何年何月何試驗合格
一 何年何月何官公私立何學校何學科ニ入學
一 何年何月卒業
一 何年何月何試驗合格
職業
一 何年何月何官廳ニ於テ何拜命何歴任等
賞罰

(備考)
履歴書ニハ中等學校程度ヨリ入學、退學、轉學、休學、卒業等ノ年月ヲ明記スルコト

(第三號書式)(用紙美濃紙)

豫備試驗免除申請書

氏名

私儀高等試驗司法科試驗ヲ受クルニ付豫備試驗ヲ免除セラレ度大正十二年勅令第百九十七號ニ依リ此段申請候也

年 月 日
氏名 印
高等試驗委員長氏名宛

(第四號書式)(用紙美濃紙)

筆記試驗免除願書

氏名

私儀昨年何科試驗筆記試驗ニ合格シタル者ニ有之本年ノ筆記試驗ヲ免セラレ度高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ此段相願候也

年 月 日
氏名 印
高等試驗委員長氏名宛

(第五號書式)(用紙美濃紙)

科目受驗免除願書

氏名

私儀何年何科試驗ニ合格シタル者ニ有之左ノ科目ハ何科試驗ニ於テ受驗シタル科目ナルニ付其ノ試驗ヲ免セラレ度高等試驗令第十八條ノ規定ニ依リ此段相願候也

科目 何々

年 月 日
氏名 印
高等試驗委員長氏名宛

◎大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗公告

大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗施行ニ付同年勅令第百九十六號及同年閣令第四號ニ依リ左記ノ通公告ス

昭和六年二月

高等試驗委員長 川崎卓吉

(一)出願期限
昭和六年五月一日ヨリ同年同月二十五日迄

(二)試驗ノ期日及場所
試驗ノ期日及場所ハ追テ公告ス 但シ筆記試驗ハ七月上旬ヨリ外交科ト同時期ニ施行ノ豫定

(三)受驗願書、履歴書等
(イ)受驗願書ニハ十五圓ノ收入印紙ヲ貼附スヘシ 但シ消印スヘカラス
(ロ)受驗願書(第一號書式)ニハ履歴書(第二號書式)及明治二十六年司法省令第九號辯護士試驗規則ニ依ル試驗ノ受驗ヲ出願シタル者ナルコトヲ證スル書類並ニ出願前一年以内ニ帽ヲ著ケスシテ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スヘシ)ヲ必ス添附スヘシ

第1231号 本文

(ハ)昨年ノ筆記試驗ニ合格シタル者大正十二年勅令第百九十六號及高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ本年ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ筆記試驗免除願書(第三號書式)ヲ添附スヘシ

(ニ)願書及添附書類ハ東京市麴町區元千代田町(丸ノ內和田倉門內)內閣內高等試驗事務所ヘ持參又ハ書留郵便ニテ出願期間中ニ必ス到達スル樣差出スヘシ

(ホ)尙受驗願書及筆記試驗免除願書(昨年ノ筆記試驗合格者ニ限ル)用紙希望者ハ送付先ノ氏名及場所ヲ記載シ且貳錢切手ヲ貼附シタル封筒ヲ添ヘ五十二號試驗ト明示シ高等試驗事務所ニ申出ツヘシ

(第一號書式)(用紙美濃紙)

大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗受驗願書

本籍 何府縣郡市町村何番地

戶主又ハ何某男兄弟

現住所 何府縣郡市町村何番地(何某方)

印紙

氏名(氏名ニハ振假字ヲ附スヘシ)

年月日生

私儀大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗相受ケ度別紙履歷書、筆記試驗免除願書(昨年ノ筆記試驗ニ合格シタル出願者ニ限ル)及證明書竝ニ寫眞相添ヘ此段相願候也

(一)筆記試驗ノ受驗科目

必須科目 何々

選擇科目 何々

(二)口述試驗ノ受驗科目 何々

年月日 氏名 印

高等試驗委員長氏名宛

(備考)

(イ)東京市內又ハ其ノ附近ニ現住所ヲ有セサル者ハ試驗委員長ヨリ發スル通知書ヲ受取ルヘキ場所ヲ必ス東京市內又ハ其ノ附近ニ定メ左ノ書式ニ依リ追記シ又現住所若ハ通知書ヲ送付スヘキ宿所ヲ轉シタルトキハ其ノ時時直ニ屆出ツヘシ

追テ委員長ヨリ發スル通知書ハ左ノ所ニ御發送被成下度候

東京市何區何町(何丁目)何番地(何某方)

(ロ)昨年ノ筆記試驗ニ合格シタル者大正十二年勅令第百九十六號及高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ本年ノ筆記試驗ノ免除ヲ受ケントスルトキハ本書式中ノ前段ニ在ル氏名ノ上ニ「(昨年筆記試驗合格者)」ト記入シ、本書式中「筆記試驗ノ受驗科目」ノ部ハ左ノ如ク記載スヘシ

昨年ノ筆記試驗ニ於テ受驗シタル科目 何々

(第二號書式)(用紙美濃紙)

履歷書

氏名

學事

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ又ハ官公私立何學校ニ於テ何學ヲ修メ科目大略何々

一何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業シ何年何月卒業ス

職業

一何年何月何官廳ニ於テ何拜命何歷任等

賞罰

(第三號書式)(用紙美濃紙)

筆記試驗免除願書

私儀昨年大正十二年法律第五十二號ニ依ル試驗ノ筆記試驗ニ合格シタル者ニ有之本年ノ筆記試驗ヲ免セラレ度大正十二年勅令第百九十六號及高等試驗令第十七條ノ規定ニ依リ此段相願候也

年月日 氏名 印

高等試驗委員長氏名宛

◉大正十二年閣令第三號第四號ニ基ク證明願ノ件

大正十二年五月四日閣令第三號第四號ニ基ク受驗資格ニ關スル證明書必要ノ者ハ左記書式ニ依リ證明願ヲ司法大臣官房人事課ニ差出スヘシ(郵便ニテ證明請求ノ者ハ返信郵便切手參錢添附スヘシ)

昭和六年二月 司法省

書式(用紙美濃全紙)

證明願(二通提出スヘシ)

本籍府縣郡市町村番地

士族平民 氏名

生年月日

右者明治二十四年(三十六年)司法省令第三號(第九號)ニ依ル大正 年度判事檢事登用第一回(第二回)試驗(辯護士試驗)ニ受驗ヲ出願シタル者ニ相違ナキコトヲ御證明被成下度候

年月日 現住所 氏名 印

司法省 御中

注意

一 判檢事試驗ト辯護士試驗トハ各別ニ證明願ヲ差出スヘシ

一 數回受驗シタル者ハ最後ノ年度ヲ記載シ本籍氏名族稱等ニ變更ヲ生シタル者ハ戶籍謄本ヲ添附スヘシ

一 願書受領證所持ノ者ハ受領證ヲ添附シ之ヲ所持セサル者ハ別紙ニ當時ノ通知受領場所修學校名等參考ト爲ルヘキ事項ヲ記載シ添附スルヲ可トス

◉華族世襲財產

左記財產ヲ以テ華族世襲財產設定認可ノ申請アリタルニ依リ該財產ニ關シ權利ヲ有スル者及債權者ハ昭和六年四月九日マテニ宮內大臣ニ申出ツヘシ

昭和六年二月二日 宮內省

●伯爵酒井忠克所有 甲種登錄五分利公債も號第二七番金額二十六万八千圓、せ號第一一番金額六万七千圓

●伯爵阿部正直所有 甲種登錄甲號五分利公債甲汎號第五四二八番金額七百五十圓

●伯爵土方久敬所有 株式會社日本勸業銀行株券乙ゐ號第一五八一番、乙ゐ號第一八一三一番合計六十株

●子爵酒井忠一所有 群馬縣佐波郡伊勢崎町字本町一〇六七番宅地八十八坪、一〇六八番宅地百五坪、甲種登錄五分利公債も號第二二一番金額一万圓、せ號第一六〇番金額一万圓

右子爵酒井忠一ノ分ハ東京市中外商業新報及前橋市上毛新聞、其他ノ分ハ東京市中外商業新報ヲ以テ公告ス

◉有權者申出方

當廳所屬公證人塙才二郎死亡ニ付其身元保證金ノ上ニ權利ヲ有スル者ハ昭和六年八月三十一日マテニ當廳ニ申出ツヘシ

昭和六年二月七日 東京地方裁判所

◉私設無線電信通信從事者資格檢定合格者

銓衡ニ依リ私設無線電信通信從事者資格檢定合格證書ヲ付與セル者ノ資格等級及氏名左ノ如シ

昭和六年二月 私設無線電信通信從事者資格檢定委員長 畠山敏行

第二級 野尻喜三郎

◉鐵道抵當權設定登錄

昭和五年十二月九日官報第一一八五號ヲ以テ公告セル淡路鐵道株式會社所有ノ鐵道財團ニ對シ抵當權設定ヲ認可セシ處當事者ノ申請ニ依リ二月五日第一順位ノ鐵道抵當權設定ヲ登錄シタリ

右鐵道抵當法第三十六條ニ依リ公告ス

昭和六年二月七日 鐵道省

昭和五年十二月十九日官報第一一九四號ヲ以テ公告セル白山電氣鐵道株式會社所有ノ鐵道財團ニ對シ抵當權設定ヲ認可セシ處當事者ノ申請ニ依リ二月五日第一順位ノ鐵道抵當權設定ヲ登錄シタリ

右鐵道抵當法第三十六條ニ依リ公告ス

昭和六年二月七日 鐵道省

◉村役場位置變更

十勝國河東郡鹿追村ハ其役場位置ヲ昨五年十一月十日同村字クテクウシ一番地ノ百六十一、同番地ノ百六十二、同番地ノ百六十三、同番地ノ百六十四ニ變更移轉セリ

昭和六年二月 北海道廳

◉購買入札

一アルミニューム地金一號 五、〇〇〇瓩

含有量(一、アルミニューム九九、〇〇%以上、二、硅素〇、三〇%以下、三、鐵〇、五〇%以下、四、銅〇、二〇%以下)

履行期限 本年四月五日

一入札並開札 本月十七日午後二時

一入札場所 當部購買課

一公示書類 契約書案同課ニ在リ

一入札保證金 入札價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

一契約保證金 契約價格ノ百分ノ十以上(同上)

一入札者資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明アル者

一契約擔任官 佐世保海軍工廠會計部長 熊生榮

昭和六年二月七日 佐世保海軍工廠會計部

一品名數量 機械受渡用締革 一、〇〇〇箇

二納入場所 東京市內又ハ隣接町村內ニ於テ遞信省ノ指示スル所

三入札及開札日時 本月十三日午前十一時限入札、卽時開札

四入札場所 當局需品課購買係

五契約事項閱覽場所 同係

六入札保證金額及納付日時 見積入札價格ノ百分ノ五以上、入札當日午前十時限

七入札者資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

昭和六年二月七日 遞信省經理局

◉請負入札

一品名數量 二重渦子(改造)六万六千八百箇外一箇

二入札及開札日時 本月十二日午前十一時限入札、卽時開札

三入札場所 當所

四契約事項閱覽場所 同所

五入札保證金及其納付日時 見積價格ノ百分ノ五以上入札當日午前十時半限

六入札者資格 大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

昭和六年二月七日 遞信省經理局大阪出張所

◉賣拂入札

一金物交土砂甲以下四廉(四八坪)

引取期限 引渡ヲ受ケタル日ヨリ二十日

一現品縱覽日時 本月十七日午前九時

一入札並開札 本月十七日午後二時

一入札場所 當部購買課

一公示書類 契約書案同課ニ在リ

一入札保證金 入札價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)

一契約保證金 契約價格ノ百分ノ十以上(同上)

一契約擔任官 佐世保海軍工廠會計部長熊生榮

昭和六年二月七日 佐世保海軍工廠會計部

◉產業組合登記

●無限責任足柄振農信用購買組合變更

昭和五年十月二十九日名稱組織目的出資拂込ノ方法存立ノ時期ヲ左ノ通リ變更ス

名稱 有限責任足柄振農信用販賣購買利用組合

組織 有限責任(變更年月日 昭和五年十一月三日)

目的 一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト 二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト 三組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ニ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト 四組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若クハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト 五組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト 六農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

出資拂込ノ方法 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金六圓以上トス第一回後ノ出資拂込金額ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年十一月末迄ニ金一圓以上宛ヲ拂込ムモノトス

存立ノ時期ヲ定メサルニ付削除ス

●產業組合設立

一名稱 有限責任富水信用販賣購買利用組合

一組織 有限責任

一事務所 足柄下郡足柄村飯田岡二四四番地

一目的 一組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸出シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト 二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト 三加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト 四組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト 五組合員ノ產業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若クハ加工セスシテ又ハ之ヲ生產シテ組合員ニ賣却スルコト 六組合員ヲシテ產業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

一設立許可年月日 昭和五年十月三日

一出資一口ノ金額 金二十圓

一出資拂込方法 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓五十錢以上トス第一回後ノ出資拂込金額ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年一月末及七月末迄ニ金二圓五十錢以上宛拂込ムモノトス

一理事ノ氏名住所

稻子長吉 足柄下郡足柄村府川一三八番地

市川慶助 同村小臺一一五番地

金子甚八 同村清水新田一番地

渡邊善太郎 同村柳新田五番地

椎野善太郎 同村府川五六一番地

鶴井榮太郎 同村穴部四三一番地

一監事ノ氏名住所

瀨戶喜造 足柄下郡足柄村清水新田六四番地

加藤大次郎 同村府川三五〇番地

高橋莊之助 同所六九六番地

野地金吾 同村穴部新田八番地

一區域 足柄下郡足柄村小臺新屋柳新田清水新田掘ノ內中曾根飯田岡府川北ノ窪穴部穴部新田

右昭和五年十二月三日登記 小田原區裁判所

●有限責任千代田信用購買販賣利用組合變更

一理事萩原幸次郎ハ昭和五年十一月二十一日辭任ス

昭和五年十二月六日登記 八日市場區裁判所多古出張所

●無限責任晉倉信用購買販賣組合變更

一理事福田幸吉ハ昭和五年十一月十八日死亡シタリ

一監事岩崎太吉ハ昭和五年十一月二十一日辭任シタリ

昭和五年十二月六日登記 北甘樂區裁判所下仁田出張所

●有限責任朝比奈下信用購買販賣組合變更

一理事小柳津質作ハ昭和五年十一月十六日死亡セリ

右昭和五年十一月二十七日登記 靜岡區裁判所藤枝出張所

●有限責任御厨村大正信用購買販賣組合變更

一昭和五年十二月四日認可ニ因リ出資一口ノ金額ヲ金十二圓ト變更ス

右昭和五年十二月五日登記 濱松區裁判所見付出張所

●有限責任山香村信用組合變更

一理事守屋織平ハ昭和五年十一月十四日辭任ス

右昭和五年十二月四日登記 濱松區裁判所山香出張所

●有限責任八幡信用購買販賣利用組合變更

一理事飯島信明ノ住所ヲ昭和五年十一月二十七日左ノ通リ變更ス

東山梨郡八幡村南千三百三十五番地

右昭和五年十二月六日登記 甲府區裁判所日下部出張所

●有限責任切房木信用購買販賣利用組合變更

一理事赤池金吉ハ昭和五年十一月三日死亡ス

右昭和五年十二月八日登記 鰍澤區裁判所岩沼出張所

●有限責任販賣組合岸野農業倉庫變更

一理事上野賢三木內眞藏ハ昭和五年十一月二十一日退任シ同木內四郎木內宗三郎岩下幸平甘利彌長碓氷隆一郎工藤小京太木內雅ハ同日重任シ左記ノ者同日理事ニ就任ス

木內七郎 長野縣南佐久郡岸野村大字伴野千五百六十四番地

藤卷貞一 同縣同郡同村大字根岸三千六百八十六番地

右昭和五年十二月九日登記 岩村田區裁判所中込出張所

●有限責任販賣組合中込農業倉庫變更

一左記ノ者昭和五年十一月二十二日理事ニ補缺就任ス

依田米治 長野縣南佐久郡中込町三百五十四番地

昭和五年十二月九日登記 岩村田區裁判所中込出張所

●保證責任富縣信用販賣購買組合日月館變更

一理事竹松彌十松ハ昭和五年十一月二十日死亡ス

昭和五年十二月八日登記 伊那區裁判所

●有限責任鴨川信用販賣購買利用組合變更

昭和五年十二月五日出資一口金額及出資拂込方法ヲ左ノ通リ變更ス

一出資一口金額 金二十圓

一出資拂込方法 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓トシ第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外組合員ハ左ノ各號ノ一ニ依リ出資拂込ヲナスモノトス

一出資各口ニ付毎月末日迄ニ金一圓ヲ拂込ムコト

二第一回拂込後一箇年六箇月以內ニ全額ヲ拂込ムコト

昭和五年十二月六日登記 柏崎區裁判所

●有限責任菱里村信用組合變更

理事丸山治綿ハ昭和五年十一月十七日死亡ス

●有限責任旭村信用購買組合變更

理事松澤周平ハ昭和五年十一月二十日辭任ス

昭和五年十二月四日登記 高田區裁判所安塚出張所

●有限責任神戶第一信用組合移轉

一昭和五年十二月一日主タル事務所ヲ左ノ地ニ移轉ス

神戶市三宮町一丁目三百四十番屋敷ノ三

右昭和五年十二月五日登記 神戶區裁判所

●有限責任小坂信用販賣購買利用組合變更

一理事吉谷孝ハ昭和五年十一月二十五日左ノ如ク變更ス

理事 吉岡周八郎

一理事中和岡右衞門ハ住所ヲ左ノ如ク更正ス

中和岡右衞門 出石郡小坂村三木一三三番地

昭和五年十二月五日登記 豐岡區裁判所出石出張所

第1231号 本文

第1231号 本文

◉有限責任西日野信用購買販賣利用組合
一理事後藤長一郎ハ昭和五年十一月十六日死亡ス
昭和五年十二月四日登記 四日市區裁判所

◉有限責任三重郷信用購買販賣組合
一監事後藤長一郎ハ昭和五年十一月十六日死亡ス
昭和五年十二月四日登記 四日市區裁判所

◉有限責任協和信用購買販賣利用組合變更
一理事武藤又一ハ昭和四年十二月十五日辭任ス
昭和五年十二月五日登記 四日市區裁判所楚原出張所

◉有限責任下之郷信用購買販賣利用組合變更
一理事前田秀吉ハ昭和五年十一月二十日辭任ス
昭和五年十二月四日登記 山田區裁判所磯部出張所

◉有限責任瀨尻信用販賣購買組合變更及更正
一理事後藤萬太郎ノ住所ヲ武儀郡瀨尻村池尻二百五十二番地ト更正ス
一理事足立喜市ハ其住所ヲ同村小瀨千八百十五番地ト變更ス
昭和五年十二月五日登記 岐阜區裁判所關出張所

◉有限責任郡上生糸販賣組合更正
一監事山田喜兵ノ住所ヲ岐阜縣郡上郡奥明方村奥住四百一番地ト同佐々木鹽二ノ住所ヲ岐阜縣郡上郡牛道村陰地六百七番地ト更正ス
昭和五年十二月五日登記 八幡區裁判所

◉有限責任神戸信用購買販賣組合變更
昭和五年十一月二十九日名稱及目的ヲ左ノ如ク變更ス
一名稱 有限責任神戸信用購買販賣利用組合
一目的 一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト 二組合員ニ對シ其經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト 三組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタルモノニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト 四組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若クハ加工セスシテ之ヲ組合員ニ賣却ス 五組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト 六農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
昭和五年十二月二日登記 大垣區裁判所神戸出張所

◉有限責任府中村信用購買販賣利用組合變更
昭和五年十二月四日目的及出資拂込方法ヲ左ノ如ク變更ス
一目的 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト 組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若クハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト 加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト 組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若クハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト 組合員ノ委託ヲ受ケ或ハ買取リテ其生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト 組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト 農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫業ノ經營ヲ爲スコト
一出資拂込ノ方法 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓以上トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス其拂込期日ハ出資一口毎ニ毎年六月末日迄ニ金二圓以上拂込ムモノトス
昭和五年十二月六日登記 大垣區裁判所垂井出張所

◉有限責任經田信用購買販賣組合變更
一理事經田榮吉ハ昭和五年十一月二十一日死亡ス
右昭和五年十二月四日登記 魚津區裁判所

◉有限責任栴檀野信用購買販賣利用組合變更
一理事八田諄三ハ昭和五年十一月十六日死亡ス
右昭和五年十二月四日登記 出町區裁判所中田出張所

◉有限責任三篠信用組合變更
一左記ノ者昭和五年十一月二十八日理事ニ就任ス
廣島市三篠町打越二百十四番地 川野保五郎
同市南竹屋町七十八番地 鈴川 磯
同市大手町八丁目十二番地ノ一 住野 芳一
昭和五年十二月八日登記 廣島區裁判所

◉無限責任河内信用販賣購買利用組合變更
昭和五年十二月五日存立時期ヲ二十六箇年ト變更ス
昭和五年十二月八日登記 廣島區裁判所廿日市出張所

◉有限責任廣信用組合變更
一理事大石菊次郎ハ昭和五年十二月二日其住所ヲ賀茂郡廣村二千七十番地ニ移轉セリ
昭和五年十二月八日登記 呉區裁判所廣出張所

◉有限責任東野信用販賣購買組合變更
一監事石本勝二郎ハ昭和五年十一月二十日死亡ス
昭和五年十二月八日登記 竹原區裁判所

◉有限責任東城信用組合變更
一理事太田保太郎ハ昭和五年十一月十八日死亡ス
昭和五年十二月五日登記 庄原區裁判所東城出張所

◉無限責任右田信用購買販賣利用組合變更
一昭和五年四月二十五日總代會ニ於テ決議シ同年十二月五日認可ヲ得目的中ニ左ノ通リ追加ス
農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
右昭和五年十二月八日登記 山口區裁判所三田尻出張所

◉有限責任本山陶器信用販賣購買利用組合變更
監事藤井善助ハ昭和五年十一月二十日死亡ス
右昭和五年十二月五日登記 船木區裁判所小野田出張所

◉有限責任東苫田村信用購買販賣組合變更
理事田口早太昭和五年十一月十九日辭任シタリ
右昭和五年十二月五日登記 津山區裁判所

◉有限責任販賣組合下市農業倉庫變更
一昭和五年十一月二十一日理事當別當長太郎高見増次郎野間龜吉監事林原豐三郎鹿島繁八重任シ左記ノ者新ニ理事監事ニ就任セリ
理事 松信 芳藏 東伯郡上中山村大字石井垣二百八番地
同 手嶋 重信 同郡下中山村大字田中三百二十七番地
同 江原 虎藏 同郡同村大字築田三百二十七番地
監事 山内德兵衛 同郡上中山村大字八重十二番屋敷
右昭和五年十二月六日登記 米子區裁判所御來屋出張所

◉無限責任大内村信用購買販賣利用組合變更
一假理事杉名榮太郎ハ昭和五年十一月二十四日辭任ス
一理事缺員ニ付昭和五年十一月二十二日臨時總會ニ於テ左記ノ者同年同月二十四日就任ス
牛尾 朋次 那賀郡大内村大字内村千二十九番地
熊谷 榮治 同郡同村大字穗田八百四十三番地
小川 榮吉 同郡同村大字内田九百七十一番地
長見作太郎 同所五百四十八番地
右昭和五年十二月四日登記 濱田區裁判所

◉有限責任杷木村信用組合設立
一名稱 有限責任杷木村信用組合
一組織 有限責任
一事務所 福岡縣朝倉郡杷木村池田六百六十六番地
一目的 一組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト 二組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト組合員ト同一ノ家ニ在ル者公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
一設立許可年月日 昭和五年八月二十二日
一出資一口ノ金額 金二十圓
一出資拂込ノ方法 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金三圓以上トス第一回後ノ拂込金額ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ミニ充ツルモノノ外左ノ通リ出資ノ拂込ヲ爲スモノトス
一毎月末金一圓以上宛拂込ムコト
一第一回拂込後二箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコト
一理事ノ氏名住所
平野彌三郎 福岡縣朝倉郡杷木町池田六百八十四番地
井上晉之助 同所六百六十六番地
梶原 武雄 同所六百五十五番地ノ一
林 大四郎 同所六百八番地
井手小一郎 同所二百二十八番地
西田岩太郎 同所六百九十五番地
杉 正太郎 同所七百四十四番地ノ二
中村勘右エ門 同郡同村林田六百九十一番地ノ二
一監事ノ氏名住所
飯田勘太郎 福岡縣朝倉郡杷木村穗坂百八十九番地
林 謙次 同郡同村林田八百三十二番地
奈須昌雄 同所八百三十二番地
井上滿次 同郡同村白木六番地
安岡益實 同郡同村池田二百九十八番地ノ一
渡邊 清 同所七百四十三番地ノ三
松木乙吉 同所六百七十八番地
一區域 福岡縣朝倉郡杷木村
昭和五年十二月四日登記 甘木區裁判所星丸出張所

◉禁治産宣告

宮崎縣西諸縣郡小林町大字細野千五百八十三番地 明治三十六年三月二十六日生 有馬三枝
右叔父宮内榮二ノ申立ニ因リ心神喪失ノ常況ニアル者ト認メ當區裁判所ハ昭和六年一月二十七日禁治産ノ宣告ヲナシタリ
昭和六年一月二十七日 都城區裁判所

◉禁治産宣告取消

本籍及住所山口縣熊毛郡八代村第二千六百三十三番ノ一地 明治三十一年一月十三日生 河口流通
右ニ對シ昭和三年十一月二十五日當裁判所ノ宣告シタル禁治産ハ同番地河口サツノ申立ニ因リ昭和六年一月三十日之ヲ取消シタリ
昭和六年一月三十日 德山區裁判所

◉準禁治産宣告

本籍東京市深川區東扇橋町百五十八番地 住所同市本郷區上富士前町五番地 明治三十五年三月六日生 牛島喜一
右ニ對シ同所牛島ちうノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和五年十二月十一日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十八日 東京區裁判所

靜岡縣磐田郡上淺羽村豐住七十四番地 明治二十九年六月二十七日生 吉引類模
右ニ對シ同所同番地吉引孫太郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和六年一月二十三日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十七日 掛川區裁判所

◉準禁治産宣告取消

本籍並住所東京府荏原郡羽田町大字鈴木新田七百五十番地 明治元年六月七日生 山田武三郎
右ニ對シ昭和五年九月十二日東京區裁判所ノ宣告シタル準禁治産ノ宣告ハ兵庫縣神戸市庄山町一丁目二番地百五ノ六山田ゑづノ申立ニ因リ昭和五年十二月二十三日之ヲ取消シタリ
昭和六年一月二十八日 東京區裁判所

岩手縣上閉伊郡綾織村大字上綾織十八地割十番地 明治二十六年五月九日生 菊池巳右衞門
右ニ對シ大正十三年九月十日當區裁判所ノ宣告シタル準禁治産ハ本人ノ申立ニ依リ昭和六年一月十六日之ヲ取消シタリ
昭和六年一月二十六日 遠野區裁判所

◉失踪ニ關スル屆出ノ催告

本籍及最後ノ住所鹿兒島縣出水郡野田村下名五十六番戸 不在者 肱黑孝藏 明治二十七年二月九日生
右不在者ニ對シ利害關係人肱黑イヨヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和六年八月十五日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和六年一月二十九日 川内區裁判所

本籍兵庫縣神戸市御崎町二丁目五十三番地 最後ノ住所鹿兒島縣囎唹郡志布志町番地不詳 山崎良次事 不在者 會所良次 明治十四年五月十九日生
右不在者ニ對シ利害關係人會所藤惠ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和六年八月三十一日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若其ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ屆出ヲ爲スヘシ
昭和六年一月二十八日 鹿屋區裁判所

◉失踪宣告

本籍朝鮮江原道江陵郡城德面鶴洞里三百七十九番地 最後ノ住所支那間島龍井村第二區三洞一統五戸 明治二十八年三月三日生 全氏
右ニ對シ間島龍井村第二區三洞一統五戸李倖模ノ申立ニ因リ當館ハ昭和六年一月二十三日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十三日 在間島日本帝國總領事館

本籍並最後ノ住所中巨摩郡西田村上八田千五百七十六番地 明治三十五年一月八日生 不在者 小野清
右ニ對シ本籍住所同小野栴のノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和六年一月二十九日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十九日 甲府區裁判所

本籍三重縣飯南郡松江村大字船江 最後ノ住所同縣同郡松阪町大字松阪川井町二千七百三十三番地 明治十六年十一月二十五日生 不在者 伊藤くに
右ニ對シ三重縣飯南郡松阪町大字松阪西町二千四百八十二番地伊藤靜太郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和六年一月二十九日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十九日 松阪區裁判所

本籍山口縣都濃郡德山町三千七百五十二番地 最後ノ住所福岡縣戸畑市築地町番地不詳 明治二十一年七月三日生 不在者 原田イチ
右ニ對シ利害關係人原田寅吉ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和六年一月二十日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十日 德山區裁判所

本籍福岡縣門司市大字門司三千四百七十三番地 最後ノ住所福岡縣若松市倉濱町二丁目 明治十年二月十日生 不在者 進藤粲太郎
右ニ對シ福岡縣若松市新中町二丁目四百二十六番地進藤サヨノ申立ニ因リ昭和六年一月二十九日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十九日 小倉區裁判所

本籍及最後ノ住所大分縣日田郡日田町大字竹田六百五十番地 明治三十年三月二十日生 武内壽八
右ニ對シ弟武内喜八ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和六年一月三十日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月三十日 日田區裁判所

本籍並最後ノ住所秋田縣北秋田郡山瀨村山田八十八番地 明治十五年九月一日生 不在者 田村午吉
右不在者ニ對シ父田村常次郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付當區裁判所ハ昭和六年一月三十日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月三十日 大舘區裁判所

本籍及最後ノ住所青森縣八戸市大字湊町字汐越三十七番一號地 明治三十五年八月二十五日生 不在者 石橋寅藏
右ニ對シ妻石橋マツヱノ申立ニ因リ當區裁判所ハ昭和六年一月二十八日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和六年一月二十八日 八戸區裁判所

◉除權判決

紋別郡下湧別村 申立人 下湧別村農會 右代表者會長 小川清一郎
一振出年月日 昭和五年十一月四日
一小切手番號 第二十八號
一振出金額 金一万二千二百六十圓五十五錢
一渡先 小川清一郎
一振出人 陸軍糧秣本廠札幌派出所 出納官吏陸軍二等主計 本城良三
一支拂銀行 日本銀行網走代理店
一小切手ノ種類 記名式持參人拂
右權利ニ付申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタル處昭和六年一月二十九日午前十時ノ期日迄ニ權利ヲ屆出テタルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基キ前記小切手ノ無效ヲ宣言ス
昭和六年一月二十九日 網走區裁判所 判事 小林峭雄

◉破産宣告

高知市潮江四千七十二番地三 債務者 高知棧橋グラウンド株式會社
右會社ニ對スル昭和五年(メ)第四四號破産事件ニ付昭和六年二月二日當裁判所ノ爲シタル破産宣告ニ付公告スルコト左ノ如シ
一債務者高知棧橋グラウンド株式會社ヲ破産者トス
一破産管財人ハ高知市帶屋町四百二十八番地 辯護士 川島漸雄 同市升形三百八十七番ノ一地三百八十六番ノ二地 辯護士 島崎達馬
一破産者ニ對スル總ヘテノ債權者ハ其ノ請求權ヲ昭和六年三月二十五日迄ノ屆出期間内ニ當裁判所ニ屆出ツヘシ且其屆書ニハ證據書類元本又ハ其ノ謄本若クハ抄本ヲ添付シ二通ヲ提出スヘシ
一總債權者ノ第一回債權者集會期日ハ昭和六年二月二十六日午前九時當裁判所ニ於テ之ヲ招集ス
右債權者集會期日ニ於ケル會議ノ目的タル事項ハ破産法第百七十條第百七十一條及第百九十四條ノ事項
一債權調査ノ一般期日ハ昭和六年四月九日午前九時
一破産者ノ債務者及破産財團ノ所持者ハ破産者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ交付スヘカラス尚債務者ハ其債務ヲ負擔スルコト又右財産ノ所持者ハ其財産ヲ所持スルコト若シ別除權ヲ有スルモノハ其債權ヲ有スルコトヲ昭和六年三月二十五日迄ニ破産管財人ニ屆出ツヘシ
昭和六年二月二日午前十時宣告
高知區裁判所 判事 荻野益三郎

宮城縣加美郡中新田町字南町百八番地ノ一
破産者 有限責任中新田町信用販賣購買利用組合

右者ニ對スル昭和五年(ツ)第三號破産事件ニ付昭和六年二月二日當裁判所ノ爲シタル破産宣告ニ付公告スルコト左ノ如シ

一、有限責任中新田町信用販賣購買利用組合ヲ破産者トス
二、破産管財人ハ宮城縣志田郡古川町稻葉字三日町六十七番地 辯護士 泉混
三、債權屆出期間ハ昭和六年三月二十日迄
第一回債權者集會ノ期日ハ昭和六年二月二十六日午前十時
債權調査期日ハ昭和六年三月三十日午前十時
四、破産者ノ債務者及破産財團ニ屬スル財産ノ所持者ハ破産者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ其財産ヲ交附スヘカラス 破産者ニ對シ債務ヲ負擔スル者ハ其旨破産者ノ財産ヲ所持スルモノカ別除權ヲ有スルトキハ其債權ヲ有スルコトヲ昭和六年三月二十日迄ニ破産管財人ニ屆出ツヘシ

昭和六年二月二日 古川區裁判所 判事 西澤寬次郎

◉債權者集會招集

破産者 江口 熊市

右ノ者ニ對スル破産事件ニ付キ破産管財人ノ申立ニ依ル左記事項決議ノ爲メ當裁判所ハ昭和六年二月十八日午前十時債權者集會ヲ當裁判所ニ招集ス

記

一江口三五外一名ニ對シ否認權行使ノ訴提起ノ件

昭和六年二月三日 名古屋區裁判所 判事 岩野稔

福井市九十九町七十七番地 破産者 横山 榮作

右ニ對スル昭和四年(マ)第四一號破産事件ニ付破産管財人ノ計算報告ノ爲メ債權者集會ヲ昭和六年二月十六日午前十時當裁判所ニ招集ス

昭和六年一月三十一日 福井區裁判所

◉債權調査特別期日

破産者 株式會社川端左商店

右ノ者ニ對スル破産事件ニ付債權屆出期間經過後ニ屆出タル債權調査ノ爲其特別期日ヲ昭和六年二月十八日午後一時ト指定ス

右公告ス

昭和六年二月三日 大阪區裁判所

◉復權申立

舊本籍東京府荏原郡入新井町大字不入斗九百三十八番地
舊住所同所千四百七十三番地
現住所及本籍同所二十九番地
家資分散者 岡 豐一

右之者ハ昭和六年一月六日復權ノ申立ヲ爲シタリ
昭和六年(た)第三號
右公告ス

昭和六年一月三十日 東京區裁判所 判事 桑原龍興

福岡縣福岡市下鰯町六十一番地
現住所福岡縣三井郡御井町百八十五番地ノ二
破産者 金子良太郎

右破産者ハ昭和五年十二月二十七日當裁判所ニ復權ノ申立ヲ爲シタリ仍テ公告ス

昭和六年一月三十一日 福岡地方裁判所

◉和議認可

新潟縣北蒲原郡水原町大字水原四千百八十五番地
債務者 木村新一

右ノ者ニ對スル昭和五年(和)第一號和議事件ニ付債務者ノ提供シタル左記條件ニ依ル和議ハ昭和六年一月二十六日午後一時ノ債權者集會ニ於テ法定數ヲ得テ可決セラレ而モ右和議ハ不認可ノ決定ヲ爲スヘキ事由存セサルヲ以テ當裁判所ハ左ノ如ク決定ス

主文

本件和議ハ之ヲ認可ス

和議條件

一、債權ノ辨濟ヲ昭和八年迄据置延期ノコト
二、昭和九年ヨリ向フ十七箇年間毎年債權額ノ二十分ノ一宛ヲ辨濟スルコト
但シ右期間ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ殘餘債權額ヲ免除スルコト
三、昭和十三年中ニ金一千圓ヲ辨濟金中ヘ提供スルコトヲ共樂會ノ理事白井秀吉菅井健治ニテ保證ス

昭和六年二月二日 新發田區裁判所

◉和議取消

鳥取縣東伯郡倉吉町大字越中町二千百番地
當時兵庫縣西宮市池田町七十二本多方
債務者 門脇勝太郎

右ノ者ニ對スル昭和二年(シ)第一號和議事件ニ付當裁判所ハ債務者ニ詐欺破産ニ該ルヘキ行爲アリト認メ左ノ如ク決定ス

主文

本件和議ハ之ヲ取消ス

右公告ス

昭和六年一月三十一日 倉吉區裁判所

◉和議手續開始

東京市神田區猿樂町三丁目三番地 武藤三治

右ノ者ニ對スル昭和五年(和)第三六號和議事件ニ付昭和六年二月四日當裁判所ノ爲シタル和議開始決定ニ付公告スルコト左ノ如シ

一、武藤三治ニ對シ和議手續ヲ開始ス
二、管財人ハ東京市麴町區丸ノ內二丁目十番地岩田宙造方 三谷錦太郎
三、和議債權屆出期間ハ昭和六年二月二十八日迄
和議債權者集會期日ハ昭和六年三月十日午後一時

昭和六年二月四日 東京區裁判所 判事 桑原龍興

◉強制和議認可

茨城縣結城郡結城町結城二十二番地
破産者 奥澤治輔

右ノ者ニ對スル大正十五年(ホ)第一號破産事件ニ付昭和六年一月二十三日ノ債權者集會ニ於テ破産者ノ提供シタル強制和議ヲ可決シタルヲ以テ決定スルコト左ノ如シ

主文

本件強制和議ハ之ヲ認可ス

強制和議條件

一、本件和議認可決定確定後二箇月以內ニ現存スル破産財團ヨリ財團債權及ヒ一般ノ先取特權並ニ一般ノ優先權ヲ有スル確定債權ヲ控除シ之ニ猿島郡幸島村大字諸川大橋定次郎ノ提供ニ係ル金五千圓ヲ加ヘ之ヲ債權者ニ對シ其ノ債權額ニ應シ按分支拂フモノトス
二、債權者ハ爾餘ノ各自債權ヲ破産者ノ爲ニ免除ス
三、利息ハ之ヲ附セス

昭和六年一月三十日 下妻區裁判所 判事 石原正治

◉行旅死亡人

本籍住所氏名不詳推定年齡三十歲位ノ男 人相丈五尺一寸位頭髮五分刈面長淺黑其他普通特徵前門齒上二下齒一金冠著衣白メリヤス上下白毛綿チヨッキ青色ネル襦袢茶縞ノ給縦縞高貴織羽織裏縞甲斐絹付日和下駄紺足袋兵兒帶黑瓦斯黑二重廻シ所持品青色布製蝦蟇口一箇金三十一錢也

右本月十三日午前零時五分頃本村荻窪(寺町)一九地先熱海線下リ線路內ニ於テ轢死シ檢視濟ノ上引取人ナキニ付假埋葬ニ付ス心當リノ者ハ當役場ニ申出テラルヘシ

昭和六年一月 神奈川縣足柄下郡足柄村役場

住所氏名年齡不詳死後推定二箇月餘ノ男性髑骨ノ上端ヨリ下肢末端マテ九十センチメートル 兩下肢死體

右本月十三日當町海岸ニ漂著セリ檢視ノ上共同墓地ニ假埋葬ス心當リノ者ハ申出テラルヘシ

昭和六年一月二十七日 福井縣敦賀郡敦賀町役場

◉朝鮮銀行券發行週報

自昭和六年一月二十五日至同六年一月三十一日 朝鮮銀行券發行平均高

	圓
銀行券發行高	八二、五九一、〇七八・〇〇
正貨準備發行高	三二、八三八、一一二・〇〇
保證準備發行高	四九、七五二、九六六・〇〇

昭和六年二月二日 朝鮮銀行

◉外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

	通常 普通 月日時	通常 書留 月日時	小包 月日時	郵便船出帆港	船名
南支那、香港、海峽殖民地、フィリピン群島、英領印度等行					
	二、八後三	二、八後三	—	神戸	ポルトス號
	同 一二前八半	同 一〇後一〇	二、八後三	門司	せれべす丸
	同 一三前八半	同 一三後一〇	同 八後三	同	靖國丸
加奈陀、米國、南米等行					
	同 一〇後五、二〇	同 一〇後五、一〇	同 一〇後一	横濱	プレジデント、タフト號
	同 一一前一〇	同 一一前九半	—	同	チンダリヴス號
	同 一三前一〇	同 一三前九半	—	同	エムプレス、オブ、ジヤパン號
蘭領東印度行					
	同 一〇後七	同 一〇後六半	二、一二前九半	神戸	チカムベツク號
布哇、米國、加奈陀、南米等行					
	同 一三前一〇半	同 一三前一〇	同 一三前九半	横濱	淺間丸
香港、フィリピン群島、濠洲、新西蘭等行					
	同 一三後一〇	同 一三後九半	同 一三後九	同	銀洋丸
	同 一三後八、一五	同 一三後七、四五	—	長崎	北野丸

(備考) せれべす丸ノ小包ハ神戸局送、靖國丸ノ小包ハ横濱局送トス

昭和六年年度
諸官廳、町村役場
各學校、信用組合
會計諸帳簿の
御下命ハ
白谷帳簿製造所
最上ノ品質
最廉ノ價格
期日正確
定價表送呈
大阪市東區德井町
電話東一二五九番
振大一〇七九〇番

神奈川縣農工債券當籤番號
支拂期日 來三月一日・支拂場所 本行
本支店外各代理店及全國集配郵便局
横濱市 神奈川縣農工銀行

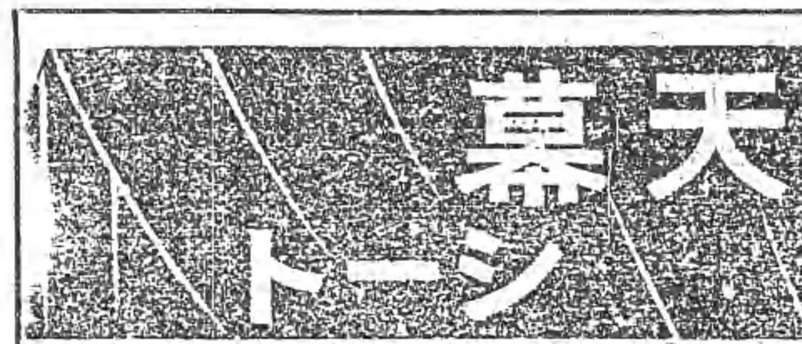
79				85								
五百円券 自31 至50 千円券 自181 至185 五千円券 2 13 27 87 97 112 123 80 千円券 自126 至130	自171 至180 自376 至380 自411 至415 五千円券 7 41 64 67 99 81 百円券 自651 至700 自1,601 至1,670	五百円券 自71 至80 自151 至160 自261 至270 千円券 自101 至105 自241 至245 自251 至255 自261 至265 自481 至485 自526 至530	自651 至655 自666 至670 五千円券 34 36 56 62 79 81 128 170 83 千円券 自31 至35 五千円券 7 29	百円券 自151 至200 千円券 自76 至80 自341 至345 自356 至360 自481 至485 五千円券 49 71 104 149 167 177	249 86 五百円券 自41 至50 千円券 自76 至80 五千円券 8 72 97 103 197 231 232 250 275 279 343	349 364 382 410 435 470 481 485 489 492 500 89 五百円券 自111 至120 千円券 自56 至60 自101 至105	自136 至139 自191 至195 自241 至245 自371 至378 五千円券 22 24 31 91 124 133 135 138 160 173 177 179 184 188 190 193 315	316 317 368 387 417 455 90 五万円券 31 92 百円券 自1,112 至1,161 五百円券 自271 至280 自362 至371 自382 至391 自412 至421	千円券 自346 至350 自536 至540 自591 至595 自646 至650 自711 至715 自859 至863 五千円券 6 24 51 59 71 85 94 101 110 119 125 138 154	203 219 233 234 262 292 319 348 381 384 390 400 414 495 511 545 546 557 592 612 617 619 630 642 726 730	93 五百円券 自71 至80 自145 至154 自244 至263 千円券 自272 至276 五千円券 10 59 61 70 77 93 133 134 192 207 263 265 283 285	297 309 352 392 397 420 421 430 431 435 442 94 千円券 自81 至85 自316 至320 五千円券 21 26 48 54

專賣特許
統計表示器
使用範圍無限

統計表作成に煩雜なる手數を省き瞬間に其使命を果し永久の使用に堪へ使用又極めて簡單御使用者より讃辭多大官公衙學校銀行會社商店等能率增進經濟的に緊縮の現下本器利用の設備最大急務なり
能率增進文化の利器
一の盤面であらゆる統計を瞬間に明確表示す
A形 三十八圓
B形 四十三圓
C形 五十圓
型錄送呈
荷造送料實費申受く
製作發賣元
本庄商店
東京 淺草 駒形町
電話 淺草 二六三九

生徒募集
理事長 工學博士 片岡安 ◉校長 京都帝大教授 工學博士 大井淸一
財團法人 關西工學校
土木科 建築科 電氣科 機械科
◆卒業生の就職は凡て本校より紹介す
◆夜間部 大阪市北區樋之口町第一學舍◉同住吉區天王寺苗代田第三學舍
◆晝間部 同東淀川區南方町第二學舍◉學則進呈郵券二錢を要す

携帶用輕便發電機
ホームライト
電氣設備なき地方にて活動寫眞映寫に必要の發電機
說明書進呈
映畫と機械
映畫撮影
映畫販賣
目錄進呈
東京市麴町區三菱二十一號館
鐵道省 內務省 御用映畫製作頒布所
都商會教育活動寫眞部
電話丸の內(特長)一九三六番



營業品目
天幕、雨覆、雨衣、雜囊類
窓掛、日除、其他加工品販賣並裁縫請負
麻帆布、ダック、リンネル類
麻糸、玉糸、布ホース、杉織紐
黃麻帆布、ヘシアン、縫糸類
綿帆布染色防水布卸小賣商
諸官省御用達
帝國製麻株式會社
小泉製麻株式會社
特約販賣店
小林半之助商店
東京市京橋區木挽町一ノ三
電話京橋(56)長六三五六

第五十八期營業報告
貸借對照表(昭和五年下半期)
負債之部
資本金 五〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
損失補塡準備金 [illegible]
配當平均準備金 [illegible]
別途積立金 [illegible]
債券發行高 [illegible]
定期預金 [illegible]
當座預金 [illegible]
特別當座預金 [illegible]
通知預金 [illegible]
別段預金 [illegible]
受入基金 [illegible]
貸付入 [illegible]
借入金 [illegible]
コールマネー [illegible]
別途借入金 [illegible]
未拂債券利息 [illegible]
他店借 [illegible]
假受金 [illegible]
行員身元保證金 [illegible]
當期利益金 [illegible]
合計 [illegible]
資產之部
定期貸 [illegible]
當座貸 [illegible]
割引手形 [illegible]
別途貸 [illegible]
買入手形 [illegible]
當座預ケ金 [illegible]
別段預ケ金 [illegible]
債券償價格較差 [illegible]
未經過債券割引料 [illegible]
國債證券 [illegible]
地方債證券 [illegible]
株式及社債 [illegible]
外國證券 [illegible]
他店へ貸 [illegible]
代理店拂込基金 [illegible]
營業用土地家屋 [illegible]
營業用什器 [illegible]
借用物件 [illegible]
假拂金 [illegible]
金銀勘定 [illegible]
合計 [illegible]
當期利益金 [illegible]
右之內
損失補塡準備金 [illegible]
配當平均準備金 [illegible]
第一期配當金(年五分) [illegible]
重役賞與金 [illegible]
第二期配當金(年一分) [illegible]
後期繰越金 [illegible]
右之通ニ候也
昭和六年二月
株式會社日本興業銀行
總裁 結城豐太郎
理事 寳來市松
理事 公森太郎
右調査ヲ遂ケ其表示ノ正確ナルコトヲ認メ茲ニ公告候也
監査役 岩佐[illegible]藏
監査役 八條隆正
監査役 子爵 田中直一

第1231号 本文

クレオソート注入防腐木材

壓力注入ニヨルモノニシテ木材
耐久力ハ優ニ二倍以上ヲ増加ス
電柱、軌道枕木、木煉瓦、其他土木建築用材一切
注入量　一立方尺ニ対シ一升五合乃至三升(樹種ニ依ル)

塗刷用防腐劑

◎クレオソリユム
◎純クレオソート

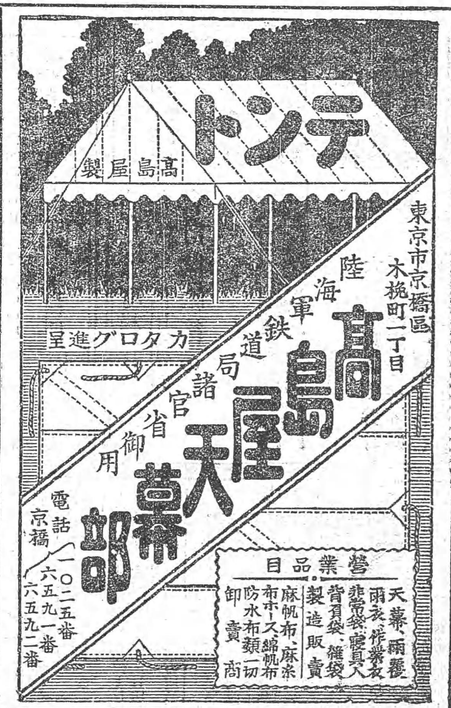
木材ノ防腐、白蟻、海虫其他昆虫類ノ撲滅ニ效力絶大「クレオソリユム」ハ塗料用ニ適合セシメタル「クレオソート」ノ精製劑ナリ

※近時「クレオソート」ト稱シ石油系統ノ防腐力稀薄ナル混合品アリ御注意肝要本社製品御指定アリタシ

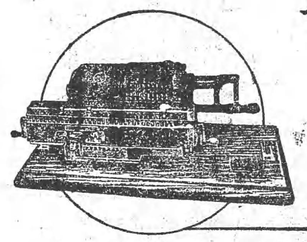
東洋木材防腐株式會社

本　社　大阪市此花區櫻島町三七
東京事務所兼工場　東京市深川區千田町九一

カタログ御申越次第送呈



ぜひ國産 タイガー計算器を



種類ハ　10桁、13桁、16桁、18桁
　　20桁、24桁、ト電動式
價格ハ　¥145,— カラ

342,681,972 × 192,836,928 = 66,081,738,761,462,016……11秒
827,645,139 ÷ 314,267,985 = 2,633,564,914……15秒
¥62,497.00 × 24.16 % = 15,099.28
〃 × 17.34 % = 10,836.98
〃 × 31.06 % = 19,411.57
〃 × 20.57 % = 12,855.63
〃 × +6.87 % = +4,293.54
100.00 % 62,497.00
……1分18秒

今直グ　御請求下サイ　カタログヲ　特
　　御申込下サイ　器械ノ實驗ヲ　長
今スグ 下記へ

1 簡易　半時間ノ練習デ誰ニモ使ヘル
2 正確　絶對ニ誤算ナク檢算ヲ要シナイ
3 迅速輕便堅牢　如何ナル方法モタイガーニハ及バナイ
4 平均五粍位ニテ携帶ニモ適ス
5 納品后十年ニナル器械ガ澤山アルガ完全ナモノダ

タイガー計算器株式會社

大阪市西淀川區海老江上四丁目(電話土佐堀三三四六・六九九〇番)

支店及出張所

東京市日本橋區通二ノ六(電話日本橋三九五三番)
仙臺市東三番丁九〇　(電話三七七六番)
札幌市南八條西二丁目二番地
福岡市博多下洲崎町三(電話四四五三番)
大連市敷島町五品ビル(電話八一四一番)
京城府元町二丁目八〇(電話龍山一一七番)
名古屋市東區千種町内山一七六

官報　第二三三二號　昭和六年二月七日　土曜日

明治二十五年三月二十五日第三種郵便物認可　◉辭令二別刷四頁◉號外昨六日發行速記錄(貴)第一一號二二頁◉同(衆)第一〇號二四頁

定價　一ヶ月　一部　九十五錢　一圓八十錢(朝鮮臺灣ニ)
廣告料　本公告　六號一行　三十錢　五號五號四號十錢增
　　六號十四字詰一行　二十五錢
發行所　東京市麹町區大手町　内閣印刷局
　　電話丸ノ内三五一番　振替東京九〇〇番